

# 院内がん登録 2009年10年生存率集計

---

がん診療連携拠点病院等/小児がん拠点/都道府県推薦病院

令和3(2021)年12月  
国立研究開発法人 国立がん研究センター  
がん対策研究所 がん登録センター

---

## 院内がん登録 2009 年 10 年生存率集計の公表について

---

国立がん研究センターでは、がん対策研究所（旧称：がん対策情報センター）・がん登録センターを中心に、これまで全国がん登録及び院内がん登録の標準化や体制整備に努めて参りました。院内がん登録は、2007 年診断症例から全国のがん診療連携拠点病院のデータを収集し、院内がん登録全国集計として我が国のがん診療の実態を把握する資料となるよう、毎年、全国集計報告書を公表しています。院内がん情報をもととした生存率集計としては今年 4 月に初めて公表した 10 年生存率、5 年生存率、そして科学的根拠に基づく情報をより迅速に提供するためにより早い段階での生存率として、3 年生存率を公表して参りました。

本報告書では、長期予後の 3 冊目の報告書として、全国 375 施設から 2009 年診断例の 10 年予後情報付院内がん情報を提供していただき、生存状況把握割合が 90%以上であった 281 施設のデータを用いて集計しました。2008 年 10 年生存率報告書で報告してきたがんに加え、本報告書では院内がん登録の 10 年生存率としては初めて喉頭がん、胆嚢がん、腎がん、腎盂尿管がん、甲状腺がん、卵巣がんについて新たに集計を行いました。また、院内がん登録生存率集計結果閲覧システムにおいて 10 年生存率を閲覧できるようにシステムの拡充を行いました。

2009 年診断症例は、2007・2008 年診断症例と同様に、院内がん登録が開始されてから間もない時期であり、データの精度に関しては一定の限界があり、全国のがん診療連携拠点病院等を代表する数値としては捉えることはできない点をご留意ください。本集計報告書をご活用いただけますと幸いです。

令和 3 年 12 月

国立研究開発法人国立がん研究センター 理事長

中釜 齊

## 生存率について

がん医療を評価する重要な一つの指標として、生存率がある。伝統的に、診断後あるいは治療後 5 年経過した時の生存率が治癒の目安とされており、がん(部位)によっては 10 年生存率が治癒の目安とされることもある。この報告書では、がん診療連携拠点病院 2009 年全国集計の結果を踏まえて、2009 年に診断された例の 10 年生存率を集計した。

信頼性の高い生存率を算定するためには、患者の生存確認を行うことが重要であるため、自施設への来院情報だけにたよらずに、患者の生存状況を把握する生存確認調査(いわゆる予後調査)が必須となる。この生存状況の把握が不十分な場合には真の値よりも高い生存率となることが知られている。また、生存率は生存状況把握割合以外にも生存率を算出した対象集団の基礎疾患の頻度や年齢分布などの偏りなどによっても大きな影響が出る。このように生存率の結果の解釈には様々な要因が影響することに留意する必要がある。

### 1) 生存状況把握割合の意味

生存率の算出において、先行研究における試算では、生存状況把握割合によって院内のデータのみを使って計算した場合、5 年相対生存率が真の値よりも 10~15% 高く推定されてしまうことがあるとの報告がある。そのため、我が国で先行して施設別生存率の公表をしてきた全国がんセンター協議会の集計方法<sup>1)</sup>を踏まえて、生存状況把握割合が 90%以上であることを基準として、この基準を全がんにおいて達成した施設のデータのみを集計の対象とした。この生存状況把握割合は国際的には 95%以上が望ましいとされており、わが国の院内がん登録でもより高い把握割合をめざすべきであると考えられる。

### 2) 生存率の種類

生存率には、その算出の仕方によって大きく「実測生存率」、「疾病特異的生存率」、「相対生存率」、「ネット・サバイバル(Net Survival)」に分けられる。

「実測生存率」は、死因に関係なく、全ての死亡を計算に含めた生存率で、診断例に対する～年後の生存患者の割合で示される。計算方法は複数存在するが、Kaplan-Meier 法が頻用され、医療機関の公表する生存率は Kaplan-Meier 法による実測生存率であることが多い。本報告においても、実測生存率については Kaplan-Meier 法を用いて計算している。

一方で、がんによる生存への影響を把握したいときには、「疾病特異的生存率」、「相対生存率」、「ネット・サ

バイバル(Net Survival)」が用いられる。「疾病特異的生存率」は、実測生存率で計算される対象にはがん以外の死因による死亡も死亡の中に含まれるため、がん以外の死因による死亡を、「打ち切り」として計算している。この疾病特異的生存率を正確に推定するためには、がんが死因でないかどうかを判定できなければならない、そのために原死因を用いて判定するか、それ以外の死因も含めて判定するかで結果が変わってくる。現在の日本の現状において、この死因の把握はかなり困難である。

これに対し、「相対生存率」、「ネット・サバイバル(Net Survival)」は、実測生存率を対象と同じ性・年齢・診断年(歴年)の一般の日本人集団で「がんではなかった場合の生存率」という考えによる期待生存率を算出し、それで、実際の生存率を割って算出する方法である。疾患特異的生存率のように個々の死因を把握する必要がないため、国際的によく用いられている。

この期待生存率の算出方法の違いから、Ederer I 法、Ederer II 法、Hakulinen 法などがこれまでに開発されてきており、それぞれ特徴があるが、相対生存率に変わる方法として、「ネット・サバイバル(Net Survival)」が目ざされている。本集計においては、従来からわが国で推奨されてきた Ederer II 法を用いた。

### 3) 既存の生存率集計

現在までに、原則として全国を対象とし、かつ臓器別ではなく、全がんを対象として公表されてきたがんの 5 年生存率には、地域がん登録によるもの、全国がんセンター協議会によるものがあり、これらは全て相対生存率で算出されている。

本集計は、人口ベースのデータに近い、臓器別の全国データや、都道府県別データであるため、実測生存率とともに、相対生存率を算出した。

### 4) 生存率をどう解釈するか

本集計による生存率は、既存の地域がん登録や全国がんセンター協議会の集計結果に比べても、より広汎な集計データといえるが、それでも拠点病院と一部の都道府県推薦病院に限ってのデータであることに留意する必要がある。なお、本報告書では、生存率に影響を与えることが想定される情報で、かつ院内がん登録としてデータ収集されている情報として、①性、②年齢、③病期(がんの進行状況)、④観血的治療の有無(手術されたか、されなかったか)などを参考資料として併記して示している。

1) 全がん協調査などでは、消息判明率と呼ばれてきたが、本報告書ではこの呼び方で表記する。

#### 参考資料

- がん登録実務者のためのマニュアル 生存率解析 味木和喜子  
2001 年 9 月、大阪府立成人病センター調査部
- がん専門施設における生存率計測の標準化 木下洋子他、  
癌の臨床 第 46 巻第 10 号、2000 年 9 月、篠原出版新社

## 目 次

院内がん登録 2009 年 10 年生存率集計の公表について.....	2
生存率について.....	3
I 2009 年 10 年生存率集計 調査方法.....	5
1. 収集の対象と方法.....	5
(1) 収集の対象.....	5
(2) 収集方法.....	5
(3) 収集項目と定義.....	5
2. 集計の対象と集計方法.....	6
(1) 集計の対象.....	6
(2) 集計の手順.....	6
(3) 集計項目の定義.....	7
(4) 集計方法.....	8
(5) 公表の対象.....	8
II 2009 年 10 年生存率集計 結果概要.....	11
1. 調査参加施設と登録数.....	11
2. 集計対象.....	11
3. 相対生存率集計対象者.....	11
III 2009 年 10 年生存率集計 結果詳細(全体) : 悪性新生物<腫瘍>.....	23
1. 全がん.....	23
2. 胃がん(胃癌).....	26
3. 大腸がん(大腸癌)・結腸がん(結腸癌)・直腸がん(直腸癌).....	28
4. 肝細胞がん(肝細胞癌)・肝内胆管がん(肝内胆管癌).....	34
5. 小細胞肺がん(小細胞肺癌)・非小細胞肺がん(非小細胞肺癌).....	38
6. 女性乳がん(女性乳癌).....	42
7. 食道がん(食道癌).....	43
8. 膵臓がん(膵臓癌).....	45
9. 子宮頸がん(子宮頸癌).....	47
10. 子宮体がん(子宮体癌).....	48
11. 前立腺がん(前立腺癌).....	49
12. 膀胱がん(膀胱癌).....	50
13. 喉頭がん(喉頭癌).....	52
14. 胆嚢がん(胆嚢癌).....	54
15. 腎がん(腎癌).....	56
16. 腎盂尿管がん(腎盂尿管癌).....	58
17. 甲状腺がん(甲状腺癌).....	60
18. 女性卵巣がん(女性卵巣癌).....	65
付表(2009 年 10 年生存率集計).....	67
1. 集計対象施設一覧.....	67

## I 2009 年 10 年生存率集計 調査方法

### 1. 収集の対象と方法

#### (1) 収集の対象

本集計では、2021 年 4 月 1 日時点のがん診療連携拠点病院等 451 施設、成人の拠点病院に指定されていない小児がん拠点病院 6 施設と 2009 年診断例、2014 年診断例について院内がん登録全国集計(0 年集計)にデータ提出した都道府県推薦病院 274 施設、及び当時の全国集計時のがん診療連携拠点病院 20 施設、合計 751 施設に調査を依頼した。データ収集に当たっては、院内がん登録 2009 年診断例の通年データを持ち、死亡日、最終生存確認日、生存期間等の生存状況情報を含めたデータ提出が可能と考えられる上記の調査依頼施設に、「予後情報付集計」の名称で、2009 年 10 年予後情報付登録情報の提供を依頼した。調査対象例は、2009 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの 1 年間に、自施設で診断または他施設で既に診断されて自施設に初診した、全悪性新生物(がん)及び頭蓋内の良性及び良悪性不詳の腫瘍の登録患者\*である。これら対象例の 10 年予後情報付の登録情報(以下「予後情報付腫瘍データ」という。)の提供を各施設に依頼した。なお、各施設における登録対象患者は、下記の通りである。

#### \* 各施設における登録患者について

各施設における登録対象は、登録を実施する自施設での新規の診断患者または他施設で診断された初診患者であり、初発例、再発例を含む。また、治療を行わない経過観察例も含まれる。セカンドオピニオンのみを目的とした初診に関しては登録対象とするかどうかは各施設の判断に任されている。1 腫瘍 1 登録の原則に基づき、同一患者に別のがん種と判断されるがんが同時または時間をあけて(異時性に)生じた場合には、多重がんとして登録される。なお、多重がんの判断は各施設に任されている。登録済みの同じがんについて当該施設で治療中に再発した患者については登録対象ではないが、同じ患者が同じがんで複数の病院を受診した場合は、異なる施設において同じ患者の同じがんが登録されている可能性がある。(本全国集計では提供されたデータは匿名化後のデータであるため、重複の整理は行わない。)

#### (2) 収集方法

2021 年 6 月 10 日に、対象施設に、「院内がん登録予後情報付集計 手順書」を送付し、手順書に従って作成されたデータの提供を依頼した。データは、エラーチェックのための品質管理ツールを用いインターネット(ネットワーク型)を通しての提出を依頼した。データ収集期間は、2021 年 7 月 5 日から 8 月 6 日までとした。

提出においては、「がん診療連携拠点病院院内がん登録標準登録様式登録項目とその定義 2006 年度版修正版」において定義された標準項目(以下「標準項目」と略す。)を満たす腫瘍データを収集した。項目の品質管理(定義通りの項目・区分で登録されているか、関連

する項目間の登録内容に矛盾はないか等)については、ネットワーク型ではデータの收受の段階で品質管理を実施し、論理矛盾がない状態でのデータ提供への協力を依頼した。なお、健総発第 0907001 号「がん診療連携拠点病院で実施する院内がん登録における必須項目の標準登録様式に係る改正等」において定義された必須項目のみでのデータ提供についてはデータ精度管理上の問題から集計対象としなかった。

#### (3) 収集項目と定義

収集項目は、前述の診断から 10 年後の生存状況の情報を含む標準項目である。また、予後情報付腫瘍データの提出にあたり、下記の計算式に従って、追跡期間(日数)を計算し入力するよう依頼した。

#### \* 追跡期間(日数)の計算方法

追跡期間(日数)とは、起算日から生存最終確認日もしくは死亡日までの日数とする。起算日は、後述する集計用診断日決定のルールに従って決定する。追跡終了日とは、予後調査結果が死亡であり死亡日があれば死亡日、生存の場合は生存最終確認日とする。

$$\text{追跡期間(日)} = \text{追跡終了日} - \text{起算日} + 1$$

本集計に関連する項目について以下に記述する。その他の標準項目の定義は、2009 年全国集計報告書を参照いただきたい。

#### i. 診断区分

診断区分は、わが国の地域がん登録との整合性を図るために用いられている分類で、「1:初発(治療開始前)」、「2:治療開始後」に分けられる。この項目は当該腫瘍について自施設に受診する前に他施設において既に治療が開始されていたか否かを区別するもので、この項目が「1:初発(治療開始前)」であったケースでは、自施設で行われた治療は初回治療とみなす。本来であれば、一連の治療方針の下で施設を問わずに初回治療とされるべきであるが、わが国の現状では、施設が異なると、一連の治療であるかないかが判明しないことが多く、そのため、他施設での治療の情報は、初回治療であっても「初回治療なし」とするルールを定めている。

#### ii. 症例区分

症例区分は生存率の算定等で対象となる患者範囲を決定する重要な区分である。院内がん登録の機能の一つには、各施設の対がん医療活動の評価のための基礎資料を提供することにある。他施設と比較し自施設のがん診療実態を把握するためには、がん対象例を正しく識別する必要がある。この項目では、初回診断(登録施設での診断の有無)と初回治療(登録施設における初回治療の有無)の組み合わせにより患者を分類するための区分を登録している。本集計では、原則として

「症例区分 2:診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例」及び「症例区分 3:他施設で診断確定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行が行われた症例」を分析対象とする。また、施設によっては前述の診断区分のみを入力している施設もあり、本集計では診断区分の組み合わせから症例区分を算出する対応表を用いて集計を行った。

### iii. 臨床病期

#### 治療前ステージ

UICC (Union for International Cancer Control) の定める病期の分類方法に基づき、何らかの治療が行われる以前につけられたステージを指す。わが国の一般的な臨床現場で使用される癌取扱い規約に基づくステージとは若干異なる部分がある。胃、乳房、肝臓、大腸、肺についてのみ、標準項目とされているが、他のがんについては任意の登録となっている。肝臓については、取扱い規約のステージも標準項目として登録することになっている。

前医で治療がなされており治療前のステージが不明の場合などは「不明」に分類されるか、空白のままに登録される。わが国の診療情報に関わる施設間の情報交換に関する懸念からこのような方針をとっている。

#### 術後病理学的ステージ

手術が行われた患者に対して、術後に検体が提出され病理学的に算出されたステージを登録する。手術が行われなかった場合には空欄で、術前に化学療法や放射線療法、免疫・内分泌療法などが行われた場合には、手術前の治療の影響が予想されるため、術後病理学的ステージは適応外として登録される。定義上は、原発巣に対する切除術が行われ、断片が陰性であるような治癒的な切除が行われた場合に本ステージが評価できるとされている。術後病理学的ステージは、腫瘍やリンパ節を顕微鏡的に観察して得られるステージであることから、治療前ステージと比較して、治療開始時点でのがんの状態をより正確に表しているといえる。

なお、2009年登録対象はUICC TNM 第6版準拠で登録されている。

### iv. 治療の有無

院内がん登録において登録される治療は、登録対象となったがんに対する初回治療である。初回治療とは治療開始時点で計画された一連の治療のことであり、症状・治療の進行に従って後に追加された治療などは含まれない。当初経過観察が計画されていたが、病状が悪化したために治療が行われた場合なども「初回治療なし」となる。また、症状緩和的な目的で行われた手術や放射線治療は、部分的に腫瘍に対する治療であるといえることから登録対象に対する治療の一環に考えるが、腫瘍に影響のない、鎮痛剤や制吐剤などの治療は、「治療あり」としない。

現時点の院内がん登録では、「i 診断区分」で既に述べたとおり、登録施設で行われた治療のみを「初回治療あり」としている。

### ① 手術・体腔鏡的治療

手術とは一般に外科的治療を指し、体腔鏡とは麻酔下に行われる腹腔鏡、胸腔鏡などの手術を指す。これらには、消化管や気管支内視鏡による治療を含めない。

### ② 内視鏡治療

上記で除外された、消化管、気管支内視鏡などによる治療を指す。

### ③ 放射線治療

原発巣に対する放射線治療だけではなく転移巣に対する放射線治療も含まれる。小線源療法も放射線治療として登録される。

### ④ 化学療法、免疫療法・BRM、内分泌療法

症状緩和のための薬物療法(鎮痛剤、制吐剤)などは含まない。また、通常の静注・経口化学療法だけではなく、肝動脈化学塞栓療法(TACE)に含まれる化学療法や動注療法も化学療法に分類される。内分泌療法には前立腺癌における除睾術等も含まれる。

### ⑤ 外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果

当該のがんに対する外科・体腔鏡的・内視鏡的治療の根治度を登録する。ここでは、初回治療として行った総合的な結果を記載する。つまり、最初内視鏡的な治療を行ったが、その後外科的な追加切除が行われた場合は、外科的切除の根治度を登録する。

## 2. 集計の対象と集計方法

### (1) 集計の対象

生存率集計における集計対象は、2009年に診断された例で次のiからiiiを満たす例を集計対象とした。

#### i. 自施設診断・自施設治療と他施設診断・自施設治療例

「症例区分 2:診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例」及び「症例区分 3:他施設で診断確定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行が行われた症例」を集計対象とした。

#### ii. 悪性新生物<腫瘍>(一部良性の脳腫瘍)

本集計では、原則として新生物<腫瘍>の性状コード3の「悪性、原発部位(悪性新生物<腫瘍>)」の例を集計対象とした。但し、脳・中枢神経系に発生した腫瘍性疾患については、良性、良性又は悪性の別不詳の例を含めて集計対象とした。

#### iii. 年齢

診断時の年齢が0から99歳までの例を集計対象とした。

### (2) 集計の手順

#### ① 集計対象例の選定

提出されたデータから上記のiからiiiに該当する例を抽出した。

#### i 自施設診断・自施設治療と他施設診断・自施設治療例

集計対象施設から提供されたデータを、表1-1 集計用診断日の決定のルール、及び表1-2 集計用症例区

分の決定のルールに基づいて、「項目:集計用診断日」、「項目:集計用症例区分」を作成した。その後、集計用症例区分が2, 3であった例を集計対象とした。

### ii 悪性新生物<腫瘍>(一部良性の脳腫瘍)

原則として、「項目:330 組織診断名コード」の新生物<腫瘍>の性状を表す第5桁コードが「3:悪性、原発部位」であった例を集計対象とした。但し、一部の脳・中枢神経系に発生した腫瘍性疾患、ICD-O-3の局在コードが「C70.0, C70.9, C71.0, C71.1, C71.2, C71.3, C71.4, C71.5, C71.6, C71.7, C71.8, C71.9, C72.2, C72.3, C72.4, C72.5, C72.8, C72.9, C75.1, C75.2, C75.3」の場合は、「0:良性」又は「1:良性又は悪性の別不詳」であった場合も集計対象に含めた。

### iii 年齢

年齢は、生年月と集計用診断年月を用いて、院内がん登録全国集計と同様に下記の定義で求めた。

診断年月の月>=生年月日の月

⇒診断年月の年-生年

診断年月の月<生年月日の月

⇒診断年月の年-生年-1

上記で求めた年齢が0~99歳までの例を集計対象とした。

上記で選定した例から、下記の㉗~㉙に該当する場合は集計対象から除外した。

#### ㉗ 性別不詳の場合

半陰陽や性同一性障害による戸籍性別の変更等のため、性別で特有の臓器に発生した腫瘍と戸籍上の性別が矛盾していないかを確認した上で、性別が不詳(項目:性別が9)であった者を除外した。性別で特有の臓器に発生した腫瘍について矛盾があった場合は、臓器に基づいて性別を修正した上で集計した(例:前立腺と登録があった場合に性別が女性として登録されていたら、男性として集計)。

#### ㉘ 追跡終了日の年月が不明の場合

追跡終了日は、「項目660:予後調査結果」が死亡であった場合は死亡日、生存であった場合は最終生存確認日となる。ただし、死亡例であっても死亡日の年または月が不明の場合は、打ち切り扱いとし、生存最終確認日を追跡終了日とした。追跡終了日の年あるいは月が不明であった場合は、集計対象から除外した。

#### ㉙ UICC TNM 分類総合ステージが0期の場合

病期は、患者の予後を予測する上で重要である。院内がん登録では、UICC TNM 分類に基づく治療の選択と評価に不可欠である臨床分類(治療前ステージ)と、術後アジュバント療法の指針となり、予後推定や遠隔成績の計算のための追加情報を提供する術後病理学的分類ステージについて情報を収集している。本集計では、腫瘍切除例(外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果が、1:治癒切除、2:非治癒切除、3:

治癒/非治癒の別不詳)については腫瘍の縮小を目的とした化学療法や放射線療法あるいは免疫・内分泌療法などを施行後の腫瘍切除例(術後病理学的ステージ適応外例)及び術後病理学的ステージが不詳であった例を除き、UICC TNM 分類術後病理学的ステージをより患者の治療前の病期を表すとしてUICC TNM 分類総合ステージとして用いた。腫瘍切除例以外はUICC TNM 分類治療前ステージをUICC TNM 分類総合ステージとして用いた。なお、本集計では総合ステージが0期であった場合は、集計対象から除外した。

#### ㉚ 追跡期間(日数)の確認

追跡期間(日数)は正確な生存率を算出するために必須の項目である。2009年診断例については、品質管理において、登録された追跡期間の確認を行っている。

#### ㉛ 集計対象施設の選定

生存率の推定値は、生存状況把握割合に影響を受ける。10年生存率を計算する場合には、対象者全員の10年後の生存状況を把握することが必要となる。これまで、全国がんセンター協議会は、加盟施設の生存率を公表してきた。その中で、がんの生存率は生存状況把握割合を100%に近づけるほど、真の値に近づくこととされ、概ね95%以上の生存状況把握割合を維持する必要があるとされている。しかしながら、現在の院内がん登録における生存確認調査の実施においては、障害も多く、調査を実施しても生存状況が確認できず、生存状況把握割合が低い施設も存在する。また全国がんセンター協議会の生存率公表においても、改善が要するとされつつも生存状況把握割合が90%を超えた場合に施設の生存率が公表されてきた。これらの経緯を踏まえ、本集計では前述の集計対象例の生存状況把握割合が90%以上の施設を集計対象とした。具体的には、予後調査結果が生存であるが追跡期間(日数)が10年未満の打ち切り例が施設の生存率集計対象例の10%未満である施設を集計対象施設とした。

生存状況把握割合=(1-打ち切り例数/集計対象例数)×100

### (3) 集計項目の定義

#### ● 部位区分

表1-3 部位分類コード対応に基づき、作成した。

#### ● 臨床病期

##### UICC TNM 分類総合ステージ

2009年診断例では、UICC TNM 分類第6版に準拠してUICC TNM 分類の治療前及び術後病理学的ステージが登録されている。

本集計では、がん患者の予後に影響するステージとして、治療開始時点でのがんの状態をより正確に表している術後病理学的ステージがある場合(適応外、不詳、空欄を除く)は術後病理学的ステージを、無い場合は治療前ステージを用いて、UICC TNM 分類総合ステージとして集計に用いた。なお、本集計では、各施設で

登録されたステージの値を用いて集計をしており、登録されている TNM 情報からみてステージが UICC TNM 分類のステージと一致しない場合であってもデータに修正は加えていない。

癌腫別の集計対象は、以下の組織形態コードとする。  
8051-8084, 8090-9110, 8120-8131, 8140-8149,  
8160-8162, 8190-8221, 8260-8337, 8350-8551,  
8570-8576, 8940-8941, 8030-8046, 8150-8157,  
8170-8180, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255,  
8340-8347, 8560-8562, 8580-8671, 8010-8015,  
8020-8022, 8050, 8000-8005

但し、前立腺は 8120-8131 を除く。

卵巣癌(女性)で、C569、かつ以下の組織形態コードとする。8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8600-8670, 8930-8935, 8940-8941, 8950-8973, 8980, 8982-8983, 8990-8991, 9000-9015, 9020, 9040-9044, 9060-9090, 9100-9105, 9110

局在コードは、原則として別途定める部位分類コードに基づく。肺は C34、肝細胞癌は C22.0、肝内胆管は C22.1 を対象とした。甲状腺乳頭濾胞癌、喉頭癌、胆嚢癌、腎癌、腎盂尿管癌は、院内がん登録 2017 年全国集計の分類に準じて、卵巣癌は、2012-2013 年 5 年生存率集計時の分類に準じて集計した。

#### ● 観血的治療

当該がんに対する外科・体腔鏡的・内視鏡的治療の根治度について、「項目 520:外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果」に登録することとなっている。登録の際には、「1:原発巣-治癒切除」、「2:原発巣-非治癒切除」、「3:原発巣-治癒/非治癒の別不詳」、「4:姑息/対象治療、転移巣切除」、「8:その他」、「9:不詳」の中から一つを選択する。本集計では、観血的治療の有無、外科・体腔鏡的・内視鏡的治療の根治度別に生存率を集計した。

#### (4) 集計方法

前述のとおり選定された集計対象例・集計対象施設において、10年後の生存状況変数を作成し生存率を推定した。追跡期間(日数)が10年未満でかつ予後調査結果が死亡であった場合は、10年後の生存状況=死亡(1)とした。

生存率は、Kaplan-Meier 法を用いた実測生存率と、国立がん研究センターがん対策研究所において作成されたコホート生存率表を用い、Ederer II 法を用いた相対生存率を推定した。がんごとの集計では、UICC TNM 分類の登録対象である癌腫別に集計を行った。なお、本報告書では StataMP 16.0 (Stata Corporation, College Station, TX, USA)を用い、Paul W. Dickman らが開発した strsr を用いて相対生存率を推定している。

#### (5) 公表の対象

令和3年度第1回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会での検討に基づき、以下の公表基準に沿って、生存率を公表する。

生存率の推定値は、対象例数、死亡者数等の件数に依存する。一般に対象例数が30例未満の場合、推定された生存率の信頼性が低くなるため、本集計では対象例数が30例未満の場合は、10年生存率を公表しないこととする。なお、各集計表において、集計値が10未満の場合、個人が特定される可能性が高いことから、厚生労働省平成28年8月4日第8回がん診療提供体制のあり方に関する検討会での検討に従い1-3件、4-6件、7-9件といった形で公表する。

なお、都道府県別生存率については、当該都道府県で集計対象が1施設となる場合は表示していない。

#### 参考資料

1)全国がんセンター協議会. 全がん協加盟施設におけるがん患者生存率公表にあたっての指針(案)  
2004/11/25版 厚生労働省がん研究助成金「地域がん専門診療施設におけるソフト面の整備拡充に関する研究」班



表1-1 集計用診断日決定のルール

集計用症例区分	集計用診断日	備考
1:診断のみ	診断日2	
2:自施設診断自施設治療	診断日2	
3:他施設診断自施設治療	当該腫瘍初診日	
4:初回治療開始後の症例、 もしくは再発症例	当該腫瘍初診日	*
5:剖検	診断日2	死亡日
8:その他	診断日2、当該腫瘍初診日のいずれか	*

\* 優先する集計用診断日となる日付が登録されていない場合、診断日 2、当該腫瘍初診日、診断日 1、入院日の中で、2009 年の日付の項目を用いて作成した。

表 1-2 集計用症例区分の決定のルール

診断区分	診断施設	治療方針	集計用症例区分
1:初発	1:自施設診断	1:自施設で治療	2:自施設診断自施設治療
1:初発	1:自施設診断	3:自施設で経過観察	2:自施設診断自施設治療
1:初発	1:自施設診断	4:他施設へ紹介	1:診断のみ
1:初発	1:自施設診断	8:来院中断	1:診断のみ
1:初発	1:自施設診断	9:その他	1:診断のみ
1:初発	2:他施設診断	1:自施設で治療	3:他施設診断自施設治療
1:初発	2:他施設診断	3:自施設で経過観察	3:他施設診断自施設治療
1:初発	2:他施設診断	4:他施設へ紹介	8:その他
1:初発	2:他施設診断	8:来院中断	8:その他
1:初発	2:他施設診断	9:その他	8:その他
2:治療開始後	2:他施設診断	1:自施設で治療	4:初回治療開始後の症例、 もしくは再発症例
2:治療開始後	2:他施設診断	3:自施設で経過観察	4:初回治療開始後の症例、 もしくは再発症例
2:治療開始後	2:他施設診断	4:他施設へ紹介	8:その他
2:治療開始後	2:他施設診断	8:来院中断	8:その他
2:治療開始後	2:他施設診断	9:その他	8:その他

症例区分が登録されているケースでは症例区分を優先、症例区分が登録されていない例では、診断区分・診断施設・治療方針から上記のルールで変換した集計用症例区分を用いて集計用症例区分を作成した。

表 1-3 部位分類コード対応

部位名	第 1 段階 ICD-O-3 形態コード	第 2 段階 ICD-O-3 部位コード
口腔・咽頭		C00-C14
食道		C15
胃		C16
結腸		C18
直腸		C19-C20
大腸		C18-C20
肝臓		C22
胆嚢・胆管		C23-C24
膵臓		C25
喉頭		C32
肺		C33-C34
骨・軟部		C40-C41、C47、C49
皮膚(黒色腫を含む)		C44
乳房		C50
子宮頸部		C53
子宮体部		C54
子宮		C55
卵巣		C56
前立腺		C61
膀胱		C67
腎・他の尿路		C64-C66、C68
脳・中枢神経系		C700、C71、C722-C729、C751-C753
甲状腺		C73
悪性リンパ腫	959-972 974-975	
多発性骨髄腫	973、976	
白血病	980-994	
他の造血器腫瘍	995-998	C421
その他		第 1 段階、第 2 段階で変換された以外の症例

## II 2009年10年生生存率集計 結果概要

### 1. 調査参加施設と登録数

調査を依頼した 751 施設のうち、377 施設(がん診療連携拠点病院等 340 施設、都道府県推薦病院 37 施設)から 10 年予後情報付腫瘍データが提供された(協力率 50.2%)。そのうち通年データでなかった 2 施設を除外し、がん診療連携拠点病院等 339 施設、都道府県推薦病院 36 施設のデータを集計した。なお、表 2-1-1 に全登録数と集計対象を示す。

### 2. 集計対象

#### (1) 集計の対象

##### ① 集計対象例の選定

i 自施設診断自施設初回治療及び他施設診断自施設初回治療

提出されたデータ全体で、「自施設診断・自施設初回治療(症例区分 2)」が 308,425 例(62.5%)、「他施設診断・自施設初回治療(症例区分 3)」が 99,006 例(20.1%)であり、全登録数の 82.6%を占めた。

ii 悪性新生物<腫瘍>

症例区分 2, 3(自施設診断・自施設初回治療又は他施設診断・自施設初回治療)のうち悪性新生物<腫瘍>(新生物<腫瘍>の性状コードが 3)は、364,700 例(73.9%)であった。脳腫瘍の良性又は良性・悪性の別不詳を合わせると集計対象腫瘍例は、371,123 例(75.2%)であった。

iii 年齢

診断時の年齢を見ると、100 歳以上が 94 例あり、生存率集計からは除外した。年齢別にみると、70 歳代が 23.8%と最も多く、次いで 60 歳代が 21.4%であった。

上記で選定した例から、性別不詳及び追跡終了日不明または UICC TNM 分類総合ステージ 0 期の合計 46 例を集計対象から除外した。

##### ② 追跡期間(日数)の確認

予後情報付データ収集では、品質管理において追跡期間の確認を行った。なお、追跡終了日(死亡例の場合は、死亡日の年月、生存例の場合は、生存最終確認日の年月)が不明の場合は集計対象から除外した。但し、死亡例で死亡日の年月が不明であっても、生存最終確認日の年月が判明している場合は、生存最終確認日を追跡終了日とし、打ち切り例として集計した。

##### (2) 生存状況把握割合

各施設における集計対象例に対する生存状況把握割合について検討した結果、最も低かった施設の生存状況把握割合は、41.9%で、最も高かった施設は 100.0%であった。都道府県・施設別生存状況把握割合について図 2-1 に示した。以降の集計結果では、生存状況把握割合が 90%以上であった 281 施設(がん診療連携拠点病院 266 施設、都道府県推薦病院 15 施設)における登録例を集計対象とした。

### 3. 相対生存率集計対象者

全がんで生存状況把握割合が 90%以上であった 281 施設において集計対象例は、293,860 例であった。

表 2-1-1 調査参加施設の全登録数と集計対象

	集計対象外施設		集計対象施設		全体	
	94 施設	(%)	281 施設	(%)	375 施設	(%)
<b>全登録数</b>	102,890	100.0	390,611	100.0	493,501	100.0
<b>症例区分別登録数</b>						
1. 診断のみ	6,438	6.3	17,859	4.6	24,297	4.9
2. 自施設診断・自施設初回治療	66,966	65.1	241,459	61.8	308,425	62.5
3. 他施設診断・自施設初回治療	18,159	17.6	80,847	20.7	99,006	20.1
4. 初回治療開始後・再発	9,053	8.8	37,285	9.5	46,338	9.4
5. 剖検	51	0.0	192	0.0	243	0.0
6. 不明・その他	2,223	2.2	12,969	3.3	15,192	3.1
症例区分(2, 3)(再掲)	85,125	82.7	322,306	82.5	407,431	82.6
<b>症例区分 2, 3のうち</b>						
良性	1,276	1.2	4,291	1.1	5,567	1.1
良性又は悪性の別不詳	225	0.2	725	0.2	950	0.2
上皮内癌	7,888	7.7	28,326	7.3	36,214	7.3
悪性新生物<腫瘍>	75,736	73.6	288,964	74.0	364,700	73.9
集計対象腫瘍*	77,217	75.0	293,906	75.2	371,123	75.2
<b>症例区分 2, 3、集計対象腫瘍のうち(年齢不詳除く)</b>						
年齢 0~14 歳	269	0.3	1,192	0.3	1,461	0.3
15~39 歳	2,457	2.4	10,412	2.7	12,869	2.6
40 歳代	4,470	4.3	18,044	4.6	22,514	4.6
50 歳代	10,545	10.2	42,325	10.8	52,870	10.7
60 歳代	21,730	21.1	83,807	21.5	105,537	21.4
70 歳代	24,780	24.1	92,581	23.7	117,361	23.8
80-99 歳	12,966	12.6	45,545	11.7	58,511	11.9
100 歳以上	20	0.0	74	0.0	94	0.0
0~99 歳(再掲)	77,217	75.0	293,906	75.2	371,123	75.2
<b>除外対象(以下重複有)</b>						
性別不詳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
追跡終了日不明	(4-6)	0.0	10	0.0	0	0.0
総合ステージ 0 期	10	0.0	36	0.0	46	0.0
<b>集計対象例</b>	77,203	75.0	293,860	75.2	371,063	75.2

\*症例区分 2, 3 のうち、悪性新生物<腫瘍>、脳・中枢神経系に発生した良性または良性・悪性の別不詳の腫瘍を含む

表 2-2-1 がん診療連携拠点病院等調査参加 266 施設の全登録数及び症例区分 2, 3 の登録数

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診 断自施設 治療(症 例区分 3)	自施設治療 (症例区分 2, 3)登録 割合
総数		266	468,348	291,528	95,334	82.6
北海道	独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター	集計対象	2074	955	515	70.9
北海道	JA北海道厚生連 旭川厚生病院	集計対象	1455	916	250	80.1
北海道	王子総合病院	集計対象	830	666	89	91.0
北海道	市立釧路総合病院		926	660	111	83.3
北海道	JA北海道厚生連帯広厚生病院	集計対象	1324	1033	194	92.7
北海道	北見赤十字病院	集計対象	1159	709	183	77.0
北海道	市立函館病院		1194	844	185	86.2
北海道	社会医療法人母恋 日鋼記念病院	集計対象	590	344	40	65.1
北海道	社会福祉法人 函館厚生院 函館五稜郭病院	集計対象	1390	1178	153	95.8
北海道	札幌医科大学附属病院		1994	906	459	68.5
北海道	JA北海道厚生連 札幌厚生病院		1411	892	238	80.1
北海道	手稲溪仁会病院		1813	1141	307	79.9
北海道	旭川医科大学病院		1422	730	457	83.5
北海道	市立旭川病院		901	659	114	85.8
北海道	独立行政法人 労働者健康安全機構 釧路労災病院		640	524	92	96.3
青森	青森県立中央病院		1754	1071	334	80.1
青森	八戸市立市民病院	集計対象	984	731	199	94.5
岩手	岩手県立中央病院	集計対象	1783	1331	280	90.4
岩手	岩手県立二戸病院	集計対象	391	244	58	77.2
岩手	岩手医科大学附属病院	集計対象	2373	1096	858	82.3
岩手	岩手県立中部病院	集計対象	960	471	183	68.1
岩手	岩手県立磐井病院	集計対象	675	404	169	84.9
岩手	岩手県立宮古病院	集計対象	436	278	71	80.0
岩手	岩手県立大船渡病院		569	390	65	80.0
岩手	岩手県立久慈病院	集計対象	319	226	41	83.7
岩手	岩手県立釜石病院	集計対象	423	217	101	75.2
宮城	東北大学病院	集計対象	3158	1267	842	66.8
宮城	宮城県立がんセンター	集計対象	1846	1036	379	76.7
宮城	石巻赤十字病院	集計対象	1296	835	150	76.0
宮城	仙台医療センター		1214	781	364	94.3
宮城	大崎市市民病院	集計対象	1522	1088	268	89.1
宮城	独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院	集計対象	755	528	137	88.1
宮城	東北医科薬科大学病院		605	432	120	91.2
宮城	みやぎ県南中核病院		477	391	38	89.9
秋田	秋田大学医学部附属病院	集計対象	1424	636	473	77.9
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 由利組合総合病院	集計対象	490	361	71	88.2
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 大曲厚生医療センター	集計対象	680	507	102	89.6
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 平鹿総合病院		880	717	127	95.9
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 能代厚生医療センター	集計対象	498	384	66	90.4
秋田	秋田赤十字病院	集計対象	1200	866	177	86.9
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会秋田厚生医療センター	集計対象	844	601	159	90.0
山形	山形県立中央病院	集計対象	1693	1260	311	92.8
山形	山形大学医学部附属病院	集計対象	1399	745	394	81.4
山形	山形市立病院済生館	集計対象	856	651	87	86.2
山形	置賜広域病院企業団 公立置賜総合病院		758	534	159	91.4

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診 断自施設 治療(症 例区分 3)	自施設治療 (症例区分 2, 3)登録 割合
山形	日本海総合病院	集計対象	1333	719	524	93.2
福島	福島県立医科大学附属病院	集計対象	1967	896	503	71.1
福島	太田西ノ内病院	集計対象	1595	1107	279	86.9
福島	一般財団法人竹田健康財団 竹田総合 病院	集計対象	1075	575	254	77.1
福島	総合南東北病院	集計対象	1723	915	347	73.2
福島	福島県厚生農業協同組合連合会白河厚 生総合病院		638	419	38	71.6
茨城	茨城県立中央病院	集計対象	1431	863	313	82.2
茨城	筑波メディカルセンター病院・茨城県 地域がんセンター	集計対象	816	550	104	80.1
茨城	茨城県厚生農業協同組合連合会 総合 病院土浦協同病院・茨城県地域がんセ ンター	集計対象	1610	1166	198	84.7
茨城	株式会社日立製作所 日立総合病院・ 茨城県地域がんセンター		1571	1120	255	87.5
茨城	東京医科大学茨城医療センター	集計対象	703	480	96	81.9
茨城	友愛記念病院	集計対象	785	404	139	69.2
茨城	国立大学法人 筑波大学附属病院	集計対象	1958	1054	545	81.7
茨城	株式会社 日立製作所 ひたちなか総 合病院	集計対象	391	334	27	92.3
茨城	医療法人社団善仁会 小山記念病院		390	176	10	47.7
栃木	地方独立行政法人栃木県立がんセンタ ー	集計対象	1921	1024	501	79.4
栃木	自治医科大学附属病院		3199	1920	776	84.3
栃木	栃木県済生会宇都宮病院	集計対象	1513	1230	179	93.1
栃木	獨協医科大学病院	集計対象	2257	1594	426	89.5
栃木	那須赤十字病院	集計対象	900	641	54	77.2
群馬	群馬県立がんセンター	集計対象	1923	890	629	79.0
群馬	群馬大学医学部附属病院	集計対象	2657	1283	886	81.6
群馬	独立行政法人国立病院機構 渋川医療セ ンター	集計対象	440	309	83	89.1
群馬	独立行政法人国立病院機構 高崎総合 医療センター	集計対象	791	572	95	84.3
群馬	桐生厚生総合病院	集計対象	772	647	56	91.1
群馬	前橋赤十字病院	集計対象	1135	807	226	91.0
埼玉	さいたま赤十字病院		1130	869	189	93.6
埼玉	埼玉県立がんセンター	集計対象	3530	1851	1121	84.2
埼玉	深谷赤十字病院		707	577	112	97.5
埼玉	春日部市立医療センター	集計対象	728	450	73	71.8
埼玉	さいたま市立病院		1041	795	164	92.1
埼玉	獨協医科大学埼玉医療センター	集計対象	1312	921	242	88.6
埼玉	川口市立医療センター	集計対象	1012	694	177	86.1
埼玉	埼玉医科大学国際医療センター	集計対象	3728	1867	1231	83.1
埼玉	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉 県済生会川口総合病院	集計対象	1072	777	91	81.0
千葉	国立研究開発法人 国立がん研究セン ター東病院	集計対象	4652	1901	1539	73.9
千葉	国保旭中央病院		2271	1764	217	87.2
千葉	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院	集計対象	2311	1621	359	85.7
千葉	国保直営総合病院 君津中央病院	集計対象	1298	886	163	80.8
千葉	千葉県がんセンター	集計対象	3956	1555	1194	69.5
千葉	独立行政法人労働者健康安全機構千葉 労災病院	集計対象	886	669	152	92.7
千葉	船橋市立医療センター	集計対象	1066	762	233	93.3
千葉	千葉大学医学部附属病院	集計対象	2320	1374	709	89.8

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診 断自施設 治療(症 例区分 3)	自施設治療 (症例区分 2, 3)登録 割合
千葉	独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター		812	591	155	91.9
千葉	東京歯科大学市川総合病院	集計対象	1109	738	117	77.1
千葉	順天堂大学医学部附属浦安病院	集計対象	1504	1043	224	84.2
千葉	東京慈恵会医科大学附属柏病院	集計対象	1240	1053	78	91.2
千葉	松戸市立総合医療センター	集計対象	1076	576	96	62.5
千葉	日本医科大学千葉北総病院	集計対象	1108	764	175	84.7
東京	国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院	集計対象	6780	2462	1942	65.0
東京	東京都立駒込病院	集計対象	3607	1888	696	71.6
東京	青梅市立総合病院		669	590	69	98.5
東京	N T T 東日本関東病院	集計対象	2067	1185	451	79.1
東京	日本赤十字社医療センター	集計対象	1716	878	296	68.4
東京	日本大学医学部附属板橋病院	集計対象	2017	1276	290	77.6
東京	武蔵野赤十字病院		2030	1305	295	78.8
東京	がん研有明病院	集計対象	8886	3145	2504	63.6
東京	国立大学法人 東京大学医学部附属病院		3287	1585	733	70.5
東京	日本医科大学付属病院	集計対象	2376	1457	590	86.2
東京	聖路加国際病院	集計対象	2231	1317	460	79.7
東京	帝京大学医学部附属病院	集計対象	1882	1002	405	74.8
東京	東京医科大学八王子医療センター		1523	1009	255	83.0
東京	杏林大学医学部付属病院	集計対象	1966	1559	341	96.6
東京	順天堂大学医学部附属順天堂医院	集計対象	3377	1888	828	80.4
東京	昭和大学病院	集計対象	1824	1224	342	85.9
東京	東邦大学医療センター大森病院		1788	1272	207	82.7
神奈川	神奈川県立がんセンター	集計対象	2740	1390	898	83.5
神奈川	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院	集計対象	2007	1420	299	85.7
神奈川	横浜市立市民病院	集計対象	1469	1046	288	90.8
神奈川	小田原市立病院	集計対象	748	497	87	78.1
神奈川	川崎市立井田病院	集計対象	623	368	72	70.6
神奈川	相模原協同病院		1050	647	134	74.4
神奈川	聖マリアンナ医科大学病院	集計対象	2163	1746	254	92.5
神奈川	東海大学医学部付属病院		3077	1933	659	84.2
神奈川	藤沢市民病院		1079	788	164	88.2
神奈川	北里大学病院	集計対象	2159	1459	524	91.8
神奈川	横浜労災病院		1723	1064	175	71.9
新潟	新潟県立がんセンター新潟病院	集計対象	2806	1698	914	93.1
新潟	新潟県立中央病院	集計対象	1313	909	252	88.4
新潟	新潟市民病院		1502	1135	281	94.3
新潟	長岡赤十字病院	集計対象	1551	1190	253	93.0
新潟	新潟県厚生農業協同組合連合会長岡中央総合病院	集計対象	1506	1119	343	97.1
新潟	新潟大学医歯学総合病院		2060	1084	579	80.7
新潟	県立新発田病院	集計対象	1192	812	265	90.4
富山	富山県立中央病院	集計対象	2253	1492	461	86.7
富山	黒部市民病院	集計対象	638	534	66	94.0
富山	国立大学法人 富山大学附属病院	集計対象	1035	668	212	85.0
富山	厚生連高岡病院	集計対象	1199	913	158	89.3
富山	市立砺波総合病院		593	455	32	82.1
石川	国立大学法人金沢大学附属病院	集計対象	1938	973	441	73.0
石川	独立行政法人国立病院機構 金沢医療センター		748	497	92	78.7
石川	石川県立中央病院	集計対象	1658	1053	460	91.3
石川	金沢医科大学病院	集計対象	1100	731	178	82.6
石川	国民健康保険小松市民病院	集計対象	712	485	74	78.5



都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診 断自施設 治療(症 例区分 3)	自施設治療 (症例区分 2, 3)登録 割合
福井	福井県立病院	集計対象	1359	960	207	85.9
福井	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 福 井県済生会病院	集計対象	1367	1001	223	89.5
福井	福井赤十字病院	集計対象	1068	887	94	91.9
福井	福井大学医学部附属病院	集計対象	1042	620	313	89.5
福井	独立行政法人国立病院機構敦賀医療セ ンター		155	116	18	86.5
山梨	山梨県立中央病院	集計対象	1708	1105	287	81.5
山梨	国立大学法人山梨大学医学部附属病院	集計対象	1511	930	321	82.8
山梨	市立甲府病院	集計対象	500	395	46	88.2
長野	JA 長野厚生連 佐久総合病院 佐久医 療センター	集計対象	1216	820	360	97.0
長野	国立大学法人 信州大学医学部附属病 院	集計対象	1837	949	432	75.2
長野	諏訪赤十字病院	集計対象	783	538	183	92.1
長野	飯田市立病院	集計対象	772	584	115	90.5
長野	長野市民病院	集計対象	1421	886	411	91.3
長野	長野赤十字病院	集計対象	1327	828	249	81.2
長野	社会医療法人財団慈泉会 相澤病院	集計対象	1091	762	128	81.6
長野	伊那中央病院	集計対象	783	567	134	89.5
岐阜	岐阜市民病院		1280	926	184	86.7
岐阜	岐阜大学医学部附属病院		1742	868	496	78.3
岐阜	高山赤十字病院	集計対象	479	414	11	88.7
岐阜	岐阜県総合医療センター	集計対象	1502	986	249	82.2
岐阜	岐阜県立多治見病院	集計対象	1121	885	148	92.1
岐阜	大垣市民病院	集計対象	1689	1353	177	90.6
岐阜	社会医療法人厚生会 木沢記念病院	集計対象	1183	450	145	50.3
静岡	静岡県立静岡がんセンター	集計対象	4951	2261	1655	79.1
静岡	静岡県立総合病院	集計対象	2370	1519	566	88.0
静岡	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合 病院 聖隷三方原病院	集計対象	1298	830	153	75.7
静岡	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合 病院 聖隷浜松病院	集計対象	1980	1392	359	88.4
静岡	順天堂大学医学部附属静岡病院	集計対象	1449	925	189	76.9
静岡	静岡市立静岡病院	集計対象	625	523	59	93.1
静岡	藤枝市立総合病院	集計対象	1073	810	79	82.9
静岡	浜松医科大学医学部附属病院	集計対象	1404	732	377	79.0
静岡	浜松医療センター	集計対象	954	631	141	80.9
静岡	磐田市立総合病院	集計対象	795	614	117	91.9
静岡	富士市立中央病院	集計対象	725	461	78	74.3
愛知	愛知県がんセンター	集計対象	2968	1376	1213	87.2
愛知	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城 更生病院	集計対象	1862	1382	156	82.6
愛知	海南病院	集計対象	1006	791	103	88.9
愛知	国立病院機構 名古屋医療センター	集計対象	1200	924	98	85.2
愛知	小牧市民病院	集計対象	1593	1204	204	88.4
愛知	豊橋市民病院	集計対象	1694	1379	199	93.2
愛知	名古屋大学医学部附属病院		2346	1180	844	86.3
愛知	独立行政法人 地域医療機能推進機構 中京病院		1052	815	146	91.3
愛知	一宮市立市民病院	集計対象	1142	951	175	98.6
愛知	公立陶生病院	集計対象	1086	913	99	93.2
愛知	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田 厚生病院	集計対象	1223	885	141	83.9
愛知	名古屋市立大学病院		1599	1048	409	91.1
愛知	日本赤十字社愛知医療センター名古屋 第一病院	集計対象	1904	1354	273	85.5



都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診 断自施設 治療(症 例区分 3)	自施設治療 (症例区分 2, 3)登録 割合
愛知	藤田医科大学病院	集計対象	2272	1317	710	89.2
三重	伊勢赤十字病院	集計対象	1509	1075	222	86.0
三重	松阪中央総合病院		723	555	31	81.1
三重	三重大学医学部附属病院	集計対象	1496	818	414	82.4
三重	三重県厚生農業協同組合連合会 鈴鹿 中央総合病院		924	775	46	88.9
三重	市立四日市病院		1653	1150	232	83.6
滋賀	市立長浜病院	集計対象	410	390	19	99.8
滋賀	滋賀県立総合病院		1025	703	171	85.3
滋賀	大津赤十字病院		1286	974	168	88.8
滋賀	彦根市立病院		540	381	46	79.1
滋賀	滋賀医科大学医学部附属病院	集計対象	1269	722	363	85.5
京都	京都桂病院		1150	964	83	91.0
京都	京都市立病院	集計対象	1005	674	107	77.7
京都	京都第一赤十字病院	集計対象	1424	1074	230	91.6
京都	京都第二赤十字病院	集計対象	1490	1118	162	85.9
京都	独立行政法人国立病院機構 京都医療 センター	集計対象	1498	1067	221	86.0
京都	市立福知山市民病院	集計対象	702	423	114	76.5
京都	京都岡本記念病院		417	280	12	70.0
大阪	大阪府立病院機構 大阪急性期・総合 医療センター	集計対象	1635	1160	202	83.3
大阪	市立岸和田市民病院	集計対象	1281	921	178	85.8
大阪	地方独立行政法人市立東大阪医療セン ター	集計対象	1138	869	141	88.8
大阪	市立豊中病院	集計対象	1511	1161	182	88.9
大阪	大阪国際がんセンター	集計対象	3145	2478	229	86.1
大阪	地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター	集計対象	2619	1490	611	80.2
大阪	大阪赤十字病院	集計対象	2135	1680	278	91.7
大阪	独立行政法人国立病院機構 大阪南医 療センター	集計対象	672	447	122	84.7
大阪	独立行政法人労働者健康安全機構大阪 労災病院	集計対象	1366	943	279	89.5
大阪	大阪医科薬科大学病院	集計対象	1976	974	694	84.4
大阪	大阪市立大学医学部附属病院	集計対象	2006	1232	588	90.7
大阪	国立病院機構大阪医療センター	集計対象	1464	1030	291	90.2
大阪	八尾市立病院	集計対象	830	703	66	92.7
兵庫	兵庫県立がんセンター	集計対象	3119	1636	975	83.7
兵庫	神戸大学医学部附属病院	集計対象	3403	1448	908	69.2
兵庫	神戸市立医療センター中央市民病院	集計対象	1761	1160	426	90.1
兵庫	独立行政法人労働者健康安全機構 関 西労災病院	集計対象	1707	992	378	80.3
兵庫	公立学校共済組合 近畿中央病院	集計対象	694	516	109	90.1
兵庫	姫路赤十字病院	集計対象	1597	1184	301	93.0
兵庫	赤穂市民病院	集計対象	602	503	41	90.4
兵庫	公立豊岡病院組合立豊岡病院	集計対象	916	672	124	86.9
兵庫	兵庫県立淡路医療センター	集計対象	690	553	90	93.2
兵庫	兵庫医科大学病院	集計対象	2496	1260	550	72.5
兵庫	兵庫県立丹波医療センター	集計対象	199	74	53	63.8
兵庫	神鋼記念病院		853	677	135	95.2
奈良	奈良県立医科大学附属病院	集計対象	2189	1171	382	70.9
奈良	奈良県総合医療センター	集計対象	746	467	194	88.6
奈良	天理よろづ相談所病院	集計対象	1485	1241	235	99.4
奈良	近畿大学奈良病院	集計対象	1181	659	205	73.2
奈良	市立奈良病院	集計対象	630	467	59	83.5
和歌山	紀南病院		706	394	129	74.1

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診 断自施設 治療(症 例区分 3)	自施設治療 (症例区分 2, 3)登録 割合
和歌山	南和歌山医療センター		438	224	133	81.5
和歌山	日本赤十字社和歌山医療センター	集計対象	1366	1181	128	95.8
和歌山	和歌山県立医科大学附属病院	集計対象	2151	1354	604	91.0
和歌山	橋本市民病院		504	298	79	74.8
和歌山	公立那賀病院		572	363	102	81.3
鳥取	鳥取県立厚生病院		517	379	60	84.9
鳥取	鳥取県立中央病院	集計対象	742	620	83	94.7
鳥取	鳥取大学医学部附属病院	集計対象	1314	921	239	88.3
島根	松江市立病院	集計対象	753	541	99	85.0
島根	松江赤十字病院	集計対象	1091	813	135	86.9
島根	島根大学医学部附属病院	集計対象	1189	738	263	84.2
島根	島根県立中央病院	集計対象	1325	1012	160	88.5
島根	独立行政法人国立病院機構 浜田医療 センター	集計対象	517	374	76	87.0
岡山	岡山済生会総合病院		1599	1001	290	80.7
岡山	岡山赤十字病院	集計対象	870	637	102	84.9
岡山	公益財団法人 大原記念倉敷中央医療 機構 倉敷中央病院	集計対象	2992	2266	349	87.4
岡山	津山中央病院	集計対象	1386	969	150	80.7
岡山	岡山医療センター		994	733	122	86.0
岡山	川崎医科大学附属病院	集計対象	1492	969	355	88.7
広島	県立広島病院	集計対象	1474	754	296	71.2
広島	地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院		2837	1673	664	82.4
広島	広島赤十字・原爆病院	集計対象	1376	1063	185	90.7
広島	独立行政法人国立病院機構 呉医療セ ンター	集計対象	1448	995	190	81.8
広島	東広島医療センター	集計対象	664	363	125	73.5
広島	広島県厚生農業協同組合連合会 尾道 総合病院		539	410	101	94.8
広島	福山市民病院	集計対象	1432	622	333	66.7
広島	市立三次中央病院		593	442	50	83.0
山口	山口県立総合医療センター	集計対象	657	518	75	90.3
山口	国立病院機構 岩国医療センター	集計対象	970	674	138	83.7
山口	山口県厚生農業協同組合連合会周東総 合病院	集計対象	579	443	56	86.2
山口	独立行政法人地域医療機能推進機構徳 山中央病院	集計対象	1166	862	168	88.3
山口	山口大学医学部附属病院		1652	862	520	83.7
徳島	徳島県立中央病院	集計対象	675	454	125	85.8
徳島	国立大学法人 徳島大学病院	集計対象	1484	760	540	87.6
徳島	徳島赤十字病院	集計対象	938	592	187	83.0
徳島	徳島市民病院		754	461	159	82.2
香川	香川県立中央病院	集計対象	1170	744	345	93.1
香川	独立行政法人労働者健康安全機構香川 労災病院	集計対象	1200	845	210	87.9
香川	三豊総合病院	集計対象	1006	781	118	89.4
香川	高松赤十字病院	集計対象	974	734	112	86.9
香川	香川大学医学部附属病院	集計対象	1325	665	331	75.2
愛媛	市立宇和島病院	集計対象	1063	763	153	86.2
愛媛	独立行政法人国立病院機構 四国がん センター	集計対象	3146	1611	869	78.8
愛媛	住友別子病院	集計対象	600	382	73	75.8
愛媛	愛媛大学医学部附属病院	集計対象	1239	661	365	82.8
愛媛	愛媛県立中央病院	集計対象	1405	1130	196	94.4
愛媛	松山赤十字病院	集計対象	1297	1024	133	89.2
愛媛	社会福祉法人恩賜財団済生会今治病院	集計対象	485	285	92	77.7

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診 断自施設 治療(症 例区分 3)	自施設治療 (症例区分 2, 3)登録 割合
高知	国立大学法人 高知大学医学部附属病院	集計対象	1673	967	414	82.5
高知	高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター	集計対象	1085	601	464	98.2
福岡	久留米大学病院	集計対象	2491	1454	608	82.8
福岡	公立八女総合病院	集計対象	619	450	91	87.4
福岡	地方独立行政法人大牟田市立病院	集計対象	676	407	115	77.2
福岡	社会保険田川病院	集計対象	636	407	73	75.5
福岡	飯塚病院	集計対象	1803	1336	275	89.4
福岡	独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター	集計対象	474	317	51	77.6
福岡	北九州市立医療センター	集計対象	2274	1223	577	79.2
福岡	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター	集計対象	1978	1046	617	84.1
福岡	九州大学病院	集計対象	3476	1574	831	69.2
福岡	独立行政法人国立病院機構九州医療センター	集計対象	1812	1093	433	84.2
福岡	福岡県済生会福岡総合病院	集計対象	911	498	195	76.1
福岡	福岡大学病院	集計対象	1412	878	391	89.9
福岡	聖マリア病院	集計対象	1025	781	38	79.9
福岡	独立行政法人地域医療機能推進機構九州病院	集計対象	1741	1038	308	77.3
福岡	産業医科大学病院	集計対象	1768	931	446	77.9
福岡	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院	集計対象	910	606	162	84.4
佐賀	地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館	集計対象	1041	637	215	81.8
佐賀	国立大学法人 佐賀大学医学部附属病院	集計対象	1665	821	411	74.0
佐賀	唐津赤十字病院	集計対象	625	383	33	66.6
佐賀	独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター	集計対象	693	451	101	79.7
長崎	日本赤十字社 長崎原爆病院	集計対象	988	768	141	92.0
長崎	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター	集計対象	1729	1110	398	87.2
長崎	独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター	集計対象	1385	886	268	83.3
長崎	長崎みなとメディカルセンター	集計対象	964	639	184	85.4
長崎	国立大学法人 長崎大学病院	集計対象	1992	1023	622	82.6
長崎	長崎県島原病院	集計対象	513	315	108	82.5
熊本	熊本大学病院	集計対象	2550	1305	601	74.7
熊本	独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院	集計対象	690	448	137	84.8
熊本	人吉医療センター	集計対象	539	286	86	69.0
熊本	熊本赤十字病院	集計対象	1435	850	259	77.3
熊本	国立病院機構 熊本医療センター	集計対象	1350	841	217	78.4
熊本	済生会熊本病院	集計対象	1749	944	373	75.3
熊本	荒尾市民病院	集計対象	306	185	66	82.0
大分	大分県立病院	集計対象	1371	955	289	90.7
大分	大分赤十字病院	集計対象	723	498	143	88.7
大分	大分大学医学部附属病院	集計対象	1536	732	562	84.2
大分	独立行政法人国立病院機構別府医療センター	集計対象	481	367	71	91.1
大分	大分県済生会日田病院	集計対象	344	196	53	72.4
宮崎	宮崎県立宮崎病院	集計対象	943	689	162	90.2
宮崎	国立病院機構 都城医療センター	集計対象	616	332	158	79.5
宮崎	国立大学法人宮崎大学医学部附属病院	集計対象	967	535	253	81.5

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診 断自施設 治療(症 例区分 3)	自施設治療 (症例区分 2, 3)登録 割合
鹿児島	鹿児島大学病院	集計対象	2140	883	549	66.9
鹿児島	国立病院機構 鹿児島医療センター	集計対象	733	347	177	71.5
鹿児島	鹿児島県立薩南病院		179	100	50	83.8
鹿児島	済生会川内病院		503	236	72	61.2
鹿児島	独立行政法人国立病院機構 南九州病院	集計対象	174	121	41	93.1
鹿児島	県民健康プラザ鹿屋医療センター	集計対象	225	124	19	63.6
鹿児島	公益社団法人昭和会いまきいれ総合病院	集計対象	336	221	38	77.1
鹿児島	出水郡医師会広域医療センター	集計対象	300	175	47	74.0
鹿児島	社会医療法人 博愛会 相良病院	集計対象	678	488	138	92.3
沖縄	地方独立行政法人那覇市立病院	集計対象	742	422	123	73.5
沖縄	北部地区医師会病院		216	143	11	71.3
沖縄	沖縄県立中部病院	集計対象	791	498	99	75.5
沖縄	国立大学法人 琉球大学病院	集計対象	1216	472	419	73.3

表 2-2-2 都道府県推薦病院調査参加 15 施設の全登録数及び症例区分 2, 3 の登録数

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診 断自施設 治療(症 例区分 3)	自施設治療 (症例区分 2, 3)登録 割合
総数		15	25,153	16,897	3,672	81.8
北海道	社会医療法人 製鉄記念室蘭病院		630	548	18	89.8
北海道	苫小牧市立病院		606	519	(7-9)	86.8
青森	三沢市立三沢病院		350	255	38	83.7
秋田	中通総合病院	集計対象	639	435	140	90.0
山形	鶴岡市立荘内病院	集計対象	932	714	133	90.9
福島	労働者健康安全機構福島労災病院	集計対象	829	518	203	87.0
福島	会津中央病院	集計対象	724	548	96	89.0
茨城	茨城県厚生農業協同組合連合会茨城西 南医療センター病院		446	294	40	74.9
群馬	群馬中央病院	集計対象	306	279	(7-9)	93.5
群馬	群馬県済生会前橋病院	集計対象	492	313	121	88.2
東京	東京女子医科大学病院		3694	1876	875	74.5
東京	日本医科大学多摩永山病院		581	392	97	84.2
東京	国際医療福祉大学三田病院		1327	665	345	76.1
東京	東京都済生会中央病院		968	741	84	85.2
神奈川	恩賜財団済生会横浜市南部病院		1070	749	158	84.8
富山	独立行政法人労働者健康安全機構富山 労災病院		247	228	(1-3)	93.5
富山	高岡市民病院		669	522	56	86.4
富山	富山赤十字病院		765	596	71	87.2
石川	芳珠記念病院	集計対象	252	173	28	79.8
静岡	沼津市立病院	集計対象	898	573	101	75.1
静岡	焼津市立総合病院	集計対象	767	541	63	78.7
三重	済生会松阪総合病院		452	381	56	96.7
大阪	地方独立行政法人 市立吹田市民病院		587	428	91	88.4
大阪	パナソニック健康保険組合 松下記念 病院	集計対象	751	463	132	79.2
大阪	ベルランド総合病院		991	635	90	73.2
大阪	社会医療法人 生長会 府中病院		625	460	96	89.0
奈良	国保中央病院		456	92	16	23.7
奈良	済生会中和病院		446	296	43	76.0
鳥取	独立行政法人国立病院機構 米子医療 センター	集計対象	497	324	67	78.7
鳥取	鳥取市立病院	集計対象	602	461	98	92.9
島根	松江医療センター	集計対象	122	111	(7-9)	96.7
広島	国家公務員共済組合連合会呉共済病院		708	586	50	89.8
山口	総合病院山口赤十字病院		579	340	102	76.3
高知	高知赤十字病院		783	575	92	85.2
熊本	天草地域医療センター	集計対象	252	188	31	86.9
沖縄	社会医療法人仁愛会 浦添総合病院	集計対象	110	78	17	86.4

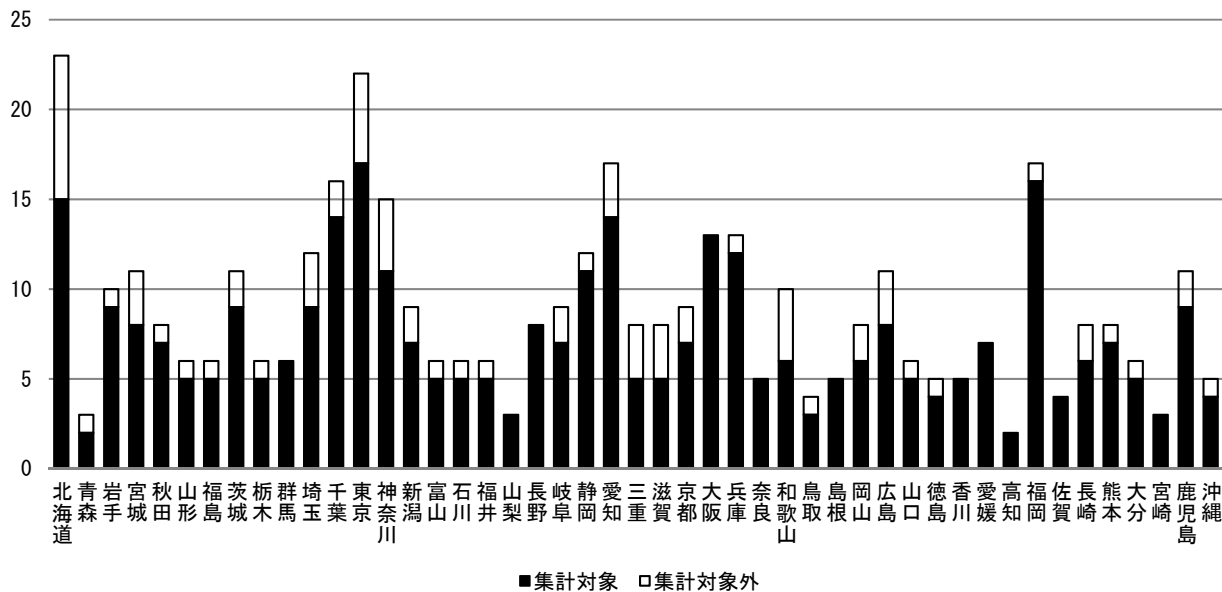


図 2-1-1 がん診療連携拠点病院等における都道府県・施設別生存状況把握割合(都道府県推薦病院を除く)

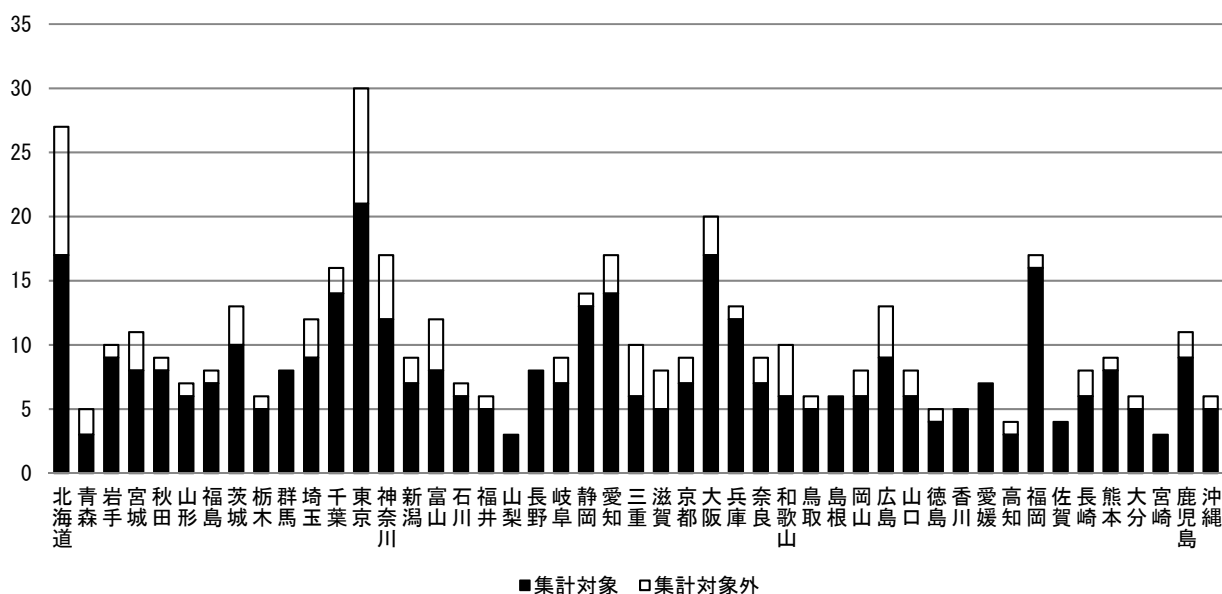


図 2-1-2 調査参加施設における都道府県・施設別生存状況把握割合

### Ⅲ 2009年10年生存率集計 結果詳細(全体) : 悪性新生物<腫瘍>

#### 1. 全がん

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2009	281	293,860	155,790	97.0	66.8歳

#### (0) 全がんの生存率集計値

全がんでの生存率集計値の算定に当たり、特性が異なるがんの生存率算定の意義について疑問を呈する声もあったが、先行する地域がん登録、全国がんセンター協議会加盟施設における既存生存率集計と比較するため、ここでは院内がん登録10年生存率集計においても全がんでの生存率集計結果について提示する。

#### (1) 生存状況把握割合

対象者は293,860例で、その内10年以内に死亡していた者は155,790例、打ち切りが8,901例であった。全体として、生存状況把握割合は97.0%であった。

#### (2) 対象者の属性

本集計対象者の属性を表3-1-1に示す。男性が58.1%、女性が41.9%とやや男性が多かった。診断時の年齢は、男女とも70歳代が最も多く、次いで60歳代となっており、60歳代、70歳代で全体の60.0%を占めた。60.3%の対象者に観血的治療が実施されており、52.2%が原発巣・治癒切除であった。発見経緯別にみると、がん検診または健康診断等が15.9%であった。部位別にみると、男性では胃、肺、前立腺、大腸の順に、女性では乳房、大腸、胃の順に多かった。



表 3-1-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	170,633	100.0	123,227	100.0	293,860	100.0
拠点病院等	166,860	97.8	120,562	97.8	287,422	97.8
都道府県推薦病院	3,773	2.2	2,665	2.2	6,438	2.2
年齢						
平均年齢(SD)	68.4	11.8	64.7	15.0	66.8	13.4
0-14歳	635	0.4	557	0.5	1,192	0.4
15-39歳	3,457	2.0	6,953	5.6	10,410	3.5
40歳代	5,607	3.3	12,434	10.1	18,041	6.1
50歳代	21,277	12.5	21,044	17.1	42,321	14.4
60歳代	53,027	31.1	30,766	25.0	83,793	28.5
70歳代	61,003	35.8	31,567	25.6	92,570	31.5
80歳以上	25,627	15.0	19,906	16.2	45,533	15.5
観血的治療						
有	92,273	54.1	85,026	69.0	177,299	60.3
原発巣・治癒切除	79,593	46.6	73,661	59.8	153,254	52.2
原発巣・非治癒切除	8,128	4.8	6,882	5.6	15,010	5.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	4,552	2.7	4,483	3.6	9,035	3.1
無	78,360	45.9	38,201	31.0	116,561	39.7
発見経緯						
がん検診	11,694	6.9	11,471	9.3	23,165	7.9
健康診断・人間ドック	15,793	9.3	7,844	6.4	23,637	8.0
他疾患経過観察中	52,524	30.8	27,641	22.4	80,165	27.3
その他・不明	90,622	53.1	76,271	61.9	166,893	56.8
部位						
口腔咽頭	6,349	3.7	2,456	2.0	8,805	3.0
食道	8,260	4.8	1,392	1.1	9,652	3.3
胃	30,374	17.8	12,812	10.4	43,186	14.7
結腸	12,179	7.1	10,112	8.2	22,291	7.6
直腸	8,329	4.9	4,462	3.6	12,791	4.4
大腸(再掲)	20,508	12.0	14,574	11.8	35,082	11.9
肝臓	9,708	5.7	4,402	3.6	14,110	4.8
胆嚢胆管	3,335	2.0	2,840	2.3	6,175	2.1
膵臓	4,952	2.9	3,927	3.2	8,879	3.0
喉頭	2,636	1.5	162	0.1	2,798	1.0
肺	25,487	14.9	11,137	9.0	36,624	12.5
骨軟部	911	0.5	688	0.6	1,599	0.5
皮膚	3,611	2.1	3,503	2.8	7,114	2.4
乳房	128	0.1	26,284	21.3	26,412	9.0
子宮頸部	-		5,467	4.4	5,467	1.9
子宮体部	-		5,765	4.7	5,765	2.0
子宮	-		33	0.0	33	0.0
卵巣	-		3,996	3.2	3,996	1.4
前立腺	23,799	13.9	-		23,799	8.1
膀胱	4,556	2.7	1,332	1.1	5,888	2.0
腎尿路	5,636	3.3	2,631	2.1	8,267	2.8
脳神経	3,000	1.8	3,902	3.2	6,902	2.3
甲状腺	1,356	0.8	3,921	3.2	5,277	1.8
悪性リンパ腫	5,788	3.4	4,894	4.0	10,682	3.6
多発性骨髄腫	1,220	0.7	978	0.8	2,198	0.7
白血病	2,587	1.5	1,808	1.5	4,395	1.5
その他の血液	1,804	1.1	1,068	0.9	2,872	1.0
その他	4,628	2.7	3,255	2.6	7,883	2.7



## (3)10年生存率

表 3-1-2 に、実測生存率及び相対生存率を示す。年齢が高いほど実測生存率と相対生存率との乖離が大きくなっているが、これは若年者と比較して高齢者ではがん以外の要因で死亡する例が多くなることが影響していると考えられる。観血的治療の実施別にみると、男女ともに観血的治療有、特に原発巣・治癒切除例において生存率が高くなっていた。

表 3-1-2 属性別 10 年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	39.7	56.5	56.2	56.8	55.3	65.2	64.9	65.6	46.2	60.2	60.0	60.5
拠点病院等	39.8	56.6	56.3	56.9	55.5	65.3	65.0	65.7	46.4	60.4	60.1	60.6
都道府県推薦病院	33.8	51.2	48.9	53.5	48.5	59.6	57.2	61.9	39.8	54.7	53.1	56.4
年齢												
0-14 歳	80.5	80.7	77.4	83.6	76.4	76.5	72.7	79.8	78.6	78.7	76.3	81.0
15-39 歳	72.6	73.3	71.8	74.8	80.8	81.3	80.4	82.2	78.1	78.7	77.9	79.5
40 歳代	62.2	64.0	62.7	65.3	79.4	80.6	79.9	81.4	74.1	75.5	74.8	76.2
50 歳代	53.7	58.1	57.3	58.8	71.2	73.6	72.9	74.2	62.4	65.8	65.3	66.3
60 歳代	48.5	58.1	57.6	58.6	62.3	67.0	66.5	67.6	53.6	61.4	61.0	61.8
70 歳代	34.4	55.9	55.3	56.6	44.6	56.8	56.1	57.5	37.9	56.2	55.8	56.7
80 歳以上	12.0	45.5	44.0	47.1	19.3	48.0	46.6	49.4	15.2	46.7	45.7	47.8
観血的治療												
有	53.0	73.9	73.5	74.4	69.4	81.2	80.8	81.6	60.9	77.5	77.2	77.8
原発巣・治癒切除	56.2	78.5	78.0	79.0	72.8	85.3	84.9	85.7	64.2	81.9	81.6	82.2
原発巣・非治癒切除	27.3	36.8	35.5	38.2	38.4	44.3	43.0	45.6	32.4	40.3	39.4	41.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	43.7	60.2	58.2	62.2	60.8	70.1	68.4	71.7	52.2	65.2	63.9	66.5
無	23.8	35.6	35.1	36.0	23.6	28.7	28.1	29.2	23.8	33.2	32.8	33.5

## 2. 胃がん(胃癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2009	279	42,828	22,020	97.1	69.4 歳
I 期	279	27,028	9,281	96.8	69.5 歳
II 期	278	3,427	1,960	97.0	69.7 歳
III 期	275	3,322	2,367	97.5	69.2 歳
IV 期	277	8,409	7,852	98.0	68.7 歳

## (1) 生存状況把握割合

集計対象者は、42,828 例で、10 年以内に死亡していた者は 22,020 例、打ち切りが 1,222 例で、生存状況把握割合は、全体で 97.1%であった。

70 歳代が最も多く、次いで 60 歳代となっており、60 歳代・70 歳代で全体の 6 割以上を占めた。UICC TNM 分類総合ステージを見ると、I 期が約 6 割、次いで IV 期が約 2 割であった。約 8 割において観血的治療が実施されており、73.6%が原発巣・治癒切除例であった。発見経緯としては、他疾患経過観察中が 29.2%であった。

## (2) 対象者の属性

胃の集計対象者の属性を表 3-2-1 に示す。性別にみると、男性が 7 割以上を占めた。診断時の年齢は、

表 3-2-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	30,180	100.0	12,648	100.0	42,828	100.0
拠点病院等	29,290	97.1	12,305	97.3	41,595	97.1
都道府県推薦病院	890	2.9	343	2.7	1,233	2.9
年齢						
平均年齢 (SD)	69.3	10.1	69.7	12.1	69.4	10.8
0-14 歳	(1-3)		0	0.0	(1-3)	
15-39 歳	250	0.8	261	2.1	511	1.2
40 歳代	769	2.5	554	4.4	1,323	3.1
50 歳代	3,895	12.9	1,594	12.6	5,489	12.8
60 歳代	9,437	31.3	3,132	24.8	12,569	29.3
70 歳代	11,148	36.9	4,313	34.1	15,461	36.1
80 歳以上	4,680	15.5	2,794	22.1	7,474	17.5
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	19,251	63.8	7,777	61.5	27,028	63.1
II 期	2,404	8.0	1,023	8.1	3,427	8.0
III 期	2,277	7.5	1,045	8.3	3,322	7.8
IV 期	5,822	19.3	2,587	20.5	8,409	19.6
不詳	426	1.4	216	1.7	642	1.5
観血的治療						
有	24,427	80.9	10,189	80.6	34,616	80.8
原発巣・治癒切除	22,268	73.8	9,243	73.1	31,511	73.6
原発巣・非治癒切除	1,600	5.3	707	5.6	2,307	5.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	559	1.9	239	1.9	798	1.9
無	5,753	19.1	2,459	19.4	8,212	19.2
発見経緯						
がん検診	3,052	10.1	1,233	9.7	4,285	10.0
健康診断・人間ドック	4,189	13.9	1,230	9.7	5,419	12.7
他疾患経過観察中	9,178	30.4	3,320	26.2	12,498	29.2
その他・不明	13,761	45.6	6,865	54.3	20,626	48.2

## (3)10年生存率

男女別にみた10年相対生存率はほぼ同様であった。年代別にみると、70歳以上では実測生存率と相対生存率の乖離が大きく、がん以外による死亡も無視できないと考えられる。また、観血治療を受けた者では、相対生存率は全体で80.6%であった。

表 3-2-2 属性別 10 年生存率

	男性			女性			全体		
	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間
全体	46.3	67.1	66.3 68.0	51.8	65.9	64.7 67.0	47.9	66.8	66.1 67.4
拠点病院等	46.5	67.3	66.5 68.1	51.9	65.9	64.8 67.0	48.1	66.9	66.2 67.6
都道府県推薦病院	39.8	61.8	56.8 66.8	48.9	64.0	56.9 70.9	42.3	62.4	58.3 66.5
年齢									
0-39歳	54.5	55.1	48.6 61.2	62.4	62.8	56.5 68.4	58.5	59.1	54.6 63.3
40歳代	70.7	72.9	69.4 76.1	65.0	66.0	61.8 69.9	68.3	70.0	67.3 72.5
50歳代	64.9	70.2	68.5 71.8	65.7	67.9	65.4 70.3	65.1	69.5	68.2 70.9
60歳代	58.3	69.7	68.5 70.8	65.5	70.6	68.8 72.4	60.1	69.9	68.9 70.9
70歳代	40.0	65.2	63.7 66.6	52.0	66.6	64.7 68.5	43.4	65.6	64.4 66.8
80歳以上	16.6	63.1	59.0 67.3	24.1	56.3	52.5 60.2	19.4	60.2	57.3 63.0
UICC TNM 総合ステージ									
I期	62.5	91.3	90.3 92.3	71.5	91.4	90.0 92.6	65.1	91.3	90.5 92.1
II期	40.6	57.7	54.9 60.6	45.4	57.8	53.9 61.7	42.0	57.8	55.5 60.1
III期	26.7	36.8	34.3 39.4	29.6	36.2	32.8 39.6	27.6	36.6	34.6 38.6
IV期	4.4	6.1	5.4 6.9	6.4	7.6	6.5 8.8	5.0	6.6	6.0 7.2
不詳	11.1	18.5	13.8 24.0	12.3	17.4	11.8 24.3	11.5	18.2	14.4 22.4
観血的治療									
有	56.1	81.0	80.1 81.9	62.9	79.7	78.5 80.9	58.1	80.6	79.9 81.3
原発巣・治癒切除	59.3	85.5	84.6 86.5	67.0	84.6	83.4 85.8	61.6	85.2	84.5 86.0
原発巣・非治癒切除	17.1	26.2	23.5 29.2	17.5	23.1	19.5 27.0	17.3	25.3	23.0 27.6
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	37.5	55.7	49.7 61.7	41.1	54.0	45.8 62.2	38.6	55.2	50.4 60.1
無	3.9	6.2	5.5 7.1	4.5	6.3	5.2 7.5	4.1	6.3	5.6 7.0

## 3. 大腸がん(大腸癌)・結腸がん(結腸癌)・直腸がん(直腸癌)

## 大腸がん(大腸癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2009	280	34,488	17,150	96.8	68.9 歳
0期※	275	9,666	2,575	96.2	67.4 歳
I期	279	8,724	2,728	96.4	68.6 歳
II期	279	9,400	3,806	96.2	70.3 歳
III期	278	9,100	4,242	97.1	68.4 歳
IV期	279	6,721	5,940	98.0	67.7 歳

## (1) 生存状況把握割合

集計対象 34,488 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 17,150 例、打ち切りが 1,087 例で、全体として生存状況把握割合は 96.8%であった。

## (2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-3①-1 に示す。性別にみると、女性より男性がやや多く男性が 58.5%を占めた。診断時の年齢は、男女ともに 70 歳代が最も多く、次いで 60 歳代

が多くなっていた。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、全体では I、II、III 期ともに 25%前後にばらついていた。大腸癌の全体の生存率には含まれないが、0 期は 9,666 例であった。88.5%の対象者がなんらかの観血的治療を受けており、77.1%が原発巣・治癒切除例であった。発見経緯としては、他疾患経過観察中が 23.6%、がん検診が 9.7%、健康診断・人間ドックが 8.2%であった。

表 3-3①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	20,178	100.0	14,310	100.0	34,488	100.0
拠点病院等	19,538	96.8	13,846	96.8	33,384	96.8
都道府県推薦病院	640	3.2	464	3.2	1,104	3.2
年齢						
平均年齢 (SD)	68.4	10.9	69.8	12.3	68.9	11.5
0-14 歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39 歳	278	1.4	251	1.8	529	1.5
40 歳代	745	3.7	642	4.5	1,387	4.0
50 歳代	2,924	14.5	1,952	13.6	4,876	14.1
60 歳代	6,389	31.7	3,669	25.6	10,058	29.2
70 歳代	6,802	33.7	4,446	31.1	11,248	32.6
80 歳以上	3,040	15.1	3,350	23.4	6,390	18.5
UICC TNM 分類総合ステージ						
0期※	6,355	-	3,311	-	9,666	-
I期	5,476	27.1	3,248	22.7	8,724	25.3
II期	5,522	27.4	3,878	27.1	9,400	27.3
III期	5,056	25.1	4,044	28.3	9,100	26.4
IV期	3,801	18.8	2,920	20.4	6,721	19.5
不詳	323	1.6	220	1.5	543	1.6
観血的治療						
有	17,896	88.7	12,617	88.2	30,513	88.5
原発巣・治癒切除	15,680	77.7	10,909	76.2	26,589	77.1
原発巣・非治癒切除	1,630	8.1	1,269	8.9	2,899	8.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	586	2.9	439	3.1	1,025	3.0
無	2,282	11.3	1,693	11.8	3,975	11.5
発見経緯						
がん検診	1,962	9.7	1,374	9.6	3,336	9.7
健康診断・人間ドック	1,792	8.9	1,027	7.2	2,819	8.2
他疾患経過観察中	5,018	24.9	3,120	21.8	8,138	23.6
その他・不明	11,406	56.5	8,789	61.4	20,195	58.6

※全体集計には含まれていない

## (3)10年生存率

10年生存率を表3-3①-2に示す。10年相対生存率は、男女ともほぼ同様であり全体では67.5%であった。他の部位と同様、年代が高くなるほど、実測生存率と相対生存率の差が大きくなるが、これは高齢者ほど他疾患で亡くなる例が少ないためと考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別に相対生存率をみると、I期では92.6%、II期では83.4%であった。観血的治療を受けたものは、相対生存率は75.0%であり、原発巣・治癒切除例においては81.5%であった。

表3-3①-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	47.0	67.1	66.1	68.1	53.0	67.9	66.8	68.9	49.5	67.5	66.7	68.2
拠点病院等	47.1	67.2	66.2	68.2	53.1	67.9	66.8	68.9	49.6	67.5	66.8	68.3
都道府県推薦病院	44.2	63.8	58.1	69.4	50.8	67.9	61.6	73.9	47.0	65.5	61.3	69.6
年齢												
0-39歳	67.4	68.2	62.2	73.5	61.5	61.9	55.5	67.8	64.6	65.2	60.9	69.2
40歳代	67.2	69.2	65.6	72.6	66.8	67.9	64.0	71.5	67.0	68.6	66.0	71.1
50歳代	62.3	67.4	65.4	69.3	68.0	70.3	68.1	72.4	64.6	68.6	67.1	70.0
60歳代	57.4	68.5	67.1	70.0	66.8	72.0	70.3	73.6	60.8	69.8	68.7	70.9
70歳代	42.3	68.9	67.0	70.8	54.3	69.5	67.6	71.3	47.0	69.2	67.8	70.6
80歳以上	14.4	56.5	51.6	61.6	23.5	59.4	55.7	63.1	19.1	58.4	55.4	61.4
UICC TNM 総合ステージ												
0期※	68.5	95.3	93.6	96.8	80.9	98.8	97.1	100.0	72.8	96.5	95.3	97.7
I期	64.1	91.4	89.5	93.2	75.1	94.6	92.6	96.4	68.2	92.6	91.3	94.0
II期	56.0	82.7	80.7	84.6	62.7	84.4	82.2	86.4	58.7	83.4	82.0	84.8
III期	48.9	68.1	66.2	70.1	57.6	72.4	70.4	74.3	52.8	70.1	68.7	71.5
IV期	9.3	12.2	11.0	13.4	11.4	13.4	12.0	14.8	10.2	12.7	11.8	13.6
不詳	16.6	25.4	19.5	32.0	20.3	26.0	19.4	33.3	18.1	25.7	21.2	30.6
観血的治療												
有	52.2	74.3	73.3	75.4	59.3	75.8	74.7	76.9	55.1	75.0	74.2	75.8
原発巣・治癒切除	56.5	80.6	79.5	81.7	64.5	82.6	81.4	83.7	59.8	81.5	80.6	82.3
原発巣・非治癒切除	15.0	20.6	18.3	23.1	19.1	23.7	21.0	26.5	16.8	22.0	20.3	23.9
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	39.1	56.2	50.4	61.9	45.9	58.1	52.1	64.0	42.0	57.0	52.9	61.1
無	6.4	9.0	7.6	10.5	5.2	6.6	5.3	8.1	5.9	8.0	7.0	9.1

## 結腸がん(結腸癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2009	280	22,242	11,191	96.8	70.0 歳
0期※	274	7,091	1,926	96.2	67.7 歳
I期	279	5,547	1,790	96.5	69.5 歳
II期	279	6,372	2,628	96.2	71.6 歳
III期	278	5,592	2,598	97.0	69.6 歳
IV期	278	4,415	3,919	97.9	68.5 歳

## (1) 生存状況把握割合

対象数は、22,242例、うち死亡数が11,191例、打ち切り数が705例で生存状況把握割合は96.8%であった。

## (2) 対象者の属性

男性が約55%、女性が約45%を占め、平均年齢は、70.0歳であった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、I～III期が約25%前後であった。約89%になんらかの観血的治療が実施されていた。

表 3-3②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	12,155	100.0	10,087	100.0	22,242	100.0
拠点病院等	11,762	96.8	9,756	96.7	21,518	96.7
都道府県推薦病院	393	3.2	331	3.3	724	3.3
年齢						
平均年齢 (SD)	69.6	10.8	70.5	12.2	70.0	11.5
0-14 歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39 歳	165	1.4	170	1.7	335	1.5
40 歳代	374	3.1	398	3.9	772	3.5
50 歳代	1,466	12.1	1,235	12.2	2,701	12.1
60 歳代	3,523	29.0	2,486	24.6	6,009	27.0
70 歳代	4,499	37.0	3,217	31.9	7,716	34.7
80 歳以上	2,128	17.5	2,581	25.6	4,709	21.2
UICC TNM 分類総合ステージ						
0期※	4,648	-	2,443	-	7,091	-
I期	3,400	28.0	2,147	21.3	5,547	24.9
II期	3,470	28.5	2,902	28.8	6,372	28.6
III期	2,805	23.1	2,787	27.6	5,592	25.1
IV期	2,293	18.9	2,122	21.0	4,415	19.8
不詳	187	1.5	129	1.3	316	1.4
観血的治療						
有	10,906	89.7	8,952	88.7	19,858	89.3
原発巣・治癒切除	9,527	78.4	7,721	76.5	17,248	77.5
原発巣・非治癒切除	1,027	8.4	920	9.1	1,947	8.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	352	2.9	311	3.1	663	3.0
無	1,249	10.3	1,135	11.3	2,384	10.7
発見経緯						
がん検診	1,240	10.2	1,019	10.1	2,259	10.2
健康診断・人間ドック	1,110	9.1	740	7.3	1,850	8.3
他疾患経過観察中	3,526	29.0	2,451	24.3	5,977	26.9
その他・不明	6,279	51.7	5,877	58.3	12,156	54.7

※全体集計には含まれていない

## (3)10年生存率

表 3-3②-2 結腸に、属性別 10 年実測生存率と相対生存率を示す。年齢が高くなるほど実測生存率と相対生存率の差に乖離が大きくなる傾向にあった。これは年齢が高いほどがん以外の死因で亡くなる確率が高くなることが影響していると考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、I 期では相対生存率は 93.4%であった。

表 3-3②-2 属性別 10 年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	46.2	68.7	67.4	70.0	52.1	68.2	66.9	69.5	48.9	68.5	67.6	69.4
拠点病院等	46.3	68.9	67.5	70.2	52.3	68.2	66.9	69.5	49.0	68.6	67.7	69.6
都道府県推薦病院	42.7	63.2	55.9	70.5	47.6	66.1	58.4	73.5	44.9	64.5	59.2	69.7
年齢												
0-39 歳	66.6	67.3	59.4	74.1	65.0	65.5	57.6	72.3	65.8	66.4	60.9	71.3
40 歳代	65.7	67.6	62.4	72.4	63.2	64.2	59.1	68.9	64.4	65.9	62.2	69.2
50 歳代	63.8	69.1	66.3	71.7	67.6	69.9	67.1	72.6	65.6	69.5	67.5	71.3
60 歳代	58.9	70.5	68.5	72.4	67.0	72.3	70.2	74.3	62.3	71.3	69.9	72.7
70 歳代	43.1	70.7	68.3	73.1	54.3	69.5	67.2	71.7	47.8	70.3	68.6	71.9
80 歳以上	14.7	58.3	52.3	64.6	24.5	61.9	57.6	66.2	20.0	60.7	57.2	64.3
UICC TNM 総合ステージ												
0 期※	67.9	95.2	93.2	97.0	80.6	99.0	96.9	100.0	72.2	96.5	95.1	97.9
I 期	62.5	92.1	89.6	94.5	74.4	95.2	92.7	97.5	67.1	93.4	91.6	95.1
II 期	54.1	84.0	81.4	86.6	62.5	86.4	83.9	88.8	57.9	85.1	83.3	86.9
III 期	48.9	70.8	68.1	73.5	57.0	73.1	70.7	75.4	52.9	72.0	70.2	73.8
IV 期	9.0	12.1	10.6	13.8	10.5	12.4	10.9	14.0	9.7	12.2	11.2	13.4
不詳	14.9	24.8	17.0	34.1	20.2	26.8	18.1	36.7	17.0	25.7	19.7	32.4
観血的治療												
有	50.9	75.6	74.2	77.1	58.1	75.9	74.5	77.2	54.2	75.8	74.8	76.8
原発巣・治癒切除	55.4	82.5	81.0	84.0	63.5	83.1	81.7	84.5	59.0	82.8	81.8	83.8
原発巣・非治癒切除	14.5	20.6	17.6	23.8	16.6	20.9	17.9	24.0	15.5	20.8	18.6	23.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	35.5	51.7	44.4	59.0	45.9	58.7	51.5	65.8	40.4	55.1	50.0	60.2
無	4.4	6.3	4.8	8.2	3.9	5.2	3.8	6.9	4.2	5.8	4.7	7.0

※全体集計には含まれていない

## 直腸がん(直腸癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2009	279	12,246	5,959	96.9	67.0 歳
0期※	265	2,575	649	96.3	66.5 歳
I期	278	3,177	938	96.3	67.1 歳
II期	275	3,028	1,178	96.3	67.7 歳
III期	275	3,508	1,644	97.1	66.5 歳
IV期	278	2,306	2,021	98.1	66.1 歳

## (1) 生存状況把握割合

対象数は、12,246例、うち死亡数が5,959例、打ち切り数が382例で生存状況把握割合は96.9%であった。

## (2) 対象者の属性

男性が約66%、女性が約34%であり、平均年齢は、67.0歳であった。UICC TNM分類総合ステージ別みると、III期が約29%であった。87.0%になんらかの観血的治療が実施されていた。

表 3-3③-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	8,023	100.0	4,223	100.0	12,246	100.0
拠点病院等	7,776	96.9	4,090	96.9	11,866	96.9
都道府県推薦病院	247	3.1	133	3.1	380	3.1
年齢						
平均年齢 (SD)	66.5	10.7	67.9	12.4	67.0	11.4
0-14 歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
15-39 歳	113	1.4	81	1.9	194	1.6
40 歳代	371	4.6	244	5.8	615	5.0
50 歳代	1,458	18.2	717	17.0	2,175	17.8
60 歳代	2,866	35.7	1,183	28.0	4,049	33.1
70 歳代	2,303	28.7	1,229	29.1	3,532	28.8
80 歳以上	912	11.4	769	18.2	1,681	13.7
UICC TNM 分類総合ステージ						
0期※	1,707	-	868	-	2,575	-
I期	2,076	25.9	1,101	26.1	3,177	25.9
II期	2,052	25.6	976	23.1	3,028	24.7
III期	2,251	28.1	1,257	29.8	3,508	28.6
IV期	1,508	18.8	798	18.9	2,306	18.8
不詳	136	1.7	91	2.2	227	1.9
観血的治療						
有	6,990	87.1	3,665	86.8	10,655	87.0
原発巣・治癒切除	6,153	76.7	3,188	75.5	9,341	76.3
原発巣・非治癒切除	603	7.5	349	8.3	952	7.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	234	2.9	128	3.0	362	3.0
無	1,033	12.9	558	13.2	1,591	13.0
発見経緯						
がん検診	722	9.0	355	8.4	1,077	8.8
健康診断・人間ドック	682	8.5	287	6.8	969	7.9
他疾患経過観察中	1,492	18.6	669	15.8	2,161	17.6
その他・不明	5,127	63.9	2,912	69.0	8,039	65.6

※全体集計には含まれていない



## (3)10年生存率

表 3-3③-2 直腸に、属性別 10 年実測生存率と相対生存率を示す。70 歳以上では実測生存率と相対生存率の差に乖離が大きくなる傾向にあった。これは年齢が高いほどがん以外の死因で亡くなる確率が高くなることが影響していると考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、全体では I 期の相対性生存率は 91.4%であった。

表 3-3③-2 属性別 10 年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	48.3	64.8	63.4	66.3	55.2	67.2	65.3	69.0	50.7	65.7	64.5	66.8
拠点病院等	48.3	64.9	63.3	66.4	55.1	67.0	65.2	68.9	50.7	65.6	64.5	66.8
都道府県推薦病院	46.6	64.7	55.8	73.2	58.7	72.1	61.1	81.8	50.8	67.3	60.5	73.9
年齢												
0-39 歳	68.6	69.4	59.6	77.4	54.3	54.7	43.0	65.0	62.6	63.2	55.7	69.8
40 歳代	68.7	70.8	65.6	75.4	72.7	73.8	67.6	79.1	70.3	72.0	68.1	75.5
50 歳代	60.8	65.7	62.9	68.4	68.7	71.0	67.3	74.4	63.4	67.5	65.3	69.6
60 歳代	55.5	66.1	63.9	68.3	66.2	71.3	68.3	74.1	58.6	67.7	65.9	69.4
70 歳代	40.7	65.3	62.1	68.6	54.4	69.4	65.8	72.9	45.5	66.9	64.5	69.3
80 歳以上	13.8	52.2	43.9	61.2	20.3	50.8	43.7	58.3	16.7	51.7	46.2	57.5
UICC TNM 総合ステージ												
0 期※	70.4	95.6	92.5	98.4	82.0	98.3	95.0	100.0	74.3	96.5	94.2	98.7
I 期	66.6	90.3	87.5	93.0	76.4	93.4	90.2	96.4	70.0	91.4	89.3	93.5
II 期	59.1	80.5	77.5	83.4	63.2	78.6	74.6	82.3	60.4	79.9	77.5	82.2
III 期	49.0	64.9	62.1	67.7	58.8	70.8	67.4	74.0	52.5	67.1	64.9	69.2
IV 期	9.7	12.3	10.4	14.3	13.8	16.0	13.3	19.0	11.1	13.6	12.1	15.3
不詳	19.0	26.3	17.7	36.2	20.6	24.9	15.5	35.8	19.6	25.8	19.2	33.0
観血的治療												
有	54.0	72.4	70.8	74.0	62.3	75.6	73.7	77.5	56.9	73.6	72.3	74.8
原発巣・治癒切除	58.1	77.8	76.2	79.5	66.9	81.3	79.2	83.2	61.1	79.1	77.7	80.3
原発巣・非治癒切除	15.9	20.8	17.1	24.8	25.6	31.0	25.6	36.8	19.4	24.6	21.5	27.9
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	44.5	62.7	53.6	71.6	45.8	56.7	45.8	67.1	45.0	60.5	53.4	67.3
無	8.8	12.2	9.9	14.8	7.8	9.4	6.9	12.4	8.4	11.2	9.4	13.2

## 4. 肝細胞がん(肝細胞癌)・肝内胆管がん(肝内胆管癌)

## 肝細胞がん(肝細胞癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2009	278	12,590	10,271	97.6	69.7 歳
I 期	272	5,179	3,788	97.4	70.1 歳
II 期	268	3,978	3,327	97.6	70.1 歳
III 期	270	2,428	2,216	97.9	68.7 歳
IV 期	228	692	667	97.8	67.6 歳

## (1) 生存状況把握割合

対象者は、12,590 例で、そのうち 10 年以内に死亡していたのは 10,271 例、打ち切りが 307 例であった。全体として、生存状況把握割合は 97.6%であった。

男性が約 70%を占めた。年代をみると、70 歳代が最も多く男性で約 38%、女性は約 47%を占めた。UICC TNM 総合ステージ別にみると、全体で I 期が約 41%、II 期が約 32%、III 期が約 19%となっていた。25.7%に観血的治療が実施されていた。発見経緯としては、他疾患経過観察中が 66.6%を占めた。

## (2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-4①-1 に示す。性別にみると、

表 3-4①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	8,774	100.0	3,816	100.0	12,590	100.0
拠点病院等	8,554	97.5	3,717	97.4	12,271	97.5
都道府県推薦病院	220	2.5	99	2.6	319	2.5
年齢						
平均年齢 (SD)	68.6	9.9	72.2	9.3	69.7	9.9
0-14 歳	(1-3)		(1-3)		(4-6)	
15-39 歳	61	0.7	24	0.6	85	0.7
40 歳代	243	2.8	53	1.4	296	2.4
50 歳代	1,222	13.9	229	6.0	1,451	11.5
60 歳代	2,803	31.9	944	24.7	3,747	29.8
70 歳代	3,360	38.3	1,785	46.8	5,145	40.9
80 歳以上	1,082	12.3	779	20.4	1,861	14.8
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	3,346	38.1	1,833	48.0	5,179	41.1
II 期	2,747	31.3	1,231	32.3	3,978	31.6
III 期	1,943	22.1	485	12.7	2,428	19.3
IV 期	535	6.1	157	4.1	692	5.5
不詳	203	2.3	110	2.9	313	2.5
取扱い規約治療前ステージ						
I 期	1,790	20.4	1,159	30.4	2,949	23.4
II 期	3,056	34.8	1,395	36.6	4,451	35.4
III 期	2,106	24.0	718	18.8	2,824	22.4
IV 期	1,447	16.5	366	9.6	1,813	14.4
不詳	266	3.0	116	3.0	382	3.0
空欄他	109	1.2	62	1.6	171	1.4
観血的治療						
有	2,480	28.3	756	19.8	3,236	25.7
原発巣・治癒切除	2,219	25.3	691	18.1	2,910	23.1
原発巣・非治癒切除	130	1.5	36	0.9	166	1.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	131	1.5	29	0.8	160	1.3
無	6,294	71.7	3,060	80.2	9,354	74.3
発見経緯						
がん検診	53	0.6	21	0.6	74	0.6
健康診断・人間ドック	321	3.7	65	1.7	386	3.1
他疾患経過観察中	5,615	64.0	2,770	72.6	8,385	66.6
その他・不明	2,785	31.7	960	25.2	3,745	29.7

## (3)10年生存率

10年生存率を表3-4①-2に示す。全体として、相対生存率は男性23.9%、女性20.6%であった。他の部位と比較して、80歳以上を除き年代による実測生存率と相対生存率の差はやや小さくなっており、予後があまり良くないことを示唆している。UICC TNM 分類別にみると、I期では相対生存率は全体で約35%である。観血的治療を受けたものの割合は約26%であるが、観血的治療を受けたものの相対生存率は約46%であった。

表3-4①-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	17.0	23.9	22.8	25.0	16.5	20.6	19.1	22.1	16.9	22.8	21.9	23.7
拠点病院等	17.1	24.0	22.8	25.1	16.7	20.8	19.3	22.4	17.0	22.9	22.0	23.9
都道府県推薦病院	14.6	21.7	15.2	29.2	9.5	11.6	5.7	20.0	13.0	18.4	13.5	24.1
年齢												
0-39歳	35.4	35.8	24.0	47.8	-	-			38.4	38.8	28.5	48.9
40歳代	33.9	34.9	28.8	41.2	42.3	43.0	29.2	56.1	35.4	36.4	30.7	42.1
50歳代	25.5	27.5	24.9	30.2	28.1	29.1	23.1	35.4	25.9	27.8	25.4	30.3
60歳代	22.7	27.1	25.2	29.0	25.1	27.1	24.1	30.2	23.3	27.0	25.5	28.6
70歳代	11.7	19.3	17.5	21.2	14.0	17.9	15.9	20.0	12.5	18.7	17.4	20.1
80歳以上	4.3	14.8	10.9	19.5	5.3	11.3	8.2	15.1	4.7	13.2	10.6	16.2
UICC TNM 総合ステージ												
I期	27.3	38.4	36.2	40.5	22.2	27.8	25.4	30.3	25.5	34.5	32.9	36.1
II期	15.3	21.5	19.6	23.5	13.5	16.7	14.4	19.2	14.7	20.0	18.5	21.5
III期	6.9	9.5	8.0	11.2	7.7	9.6	6.9	12.9	7.1	9.5	8.2	11.0
IV期	1.2	1.7	0.7	3.6	2.8	3.2	1.1	7.4	1.6	2.1	1.1	3.8
不詳	8.2	11.9	7.1	18.4	12.1	15.7	8.6	25.1	9.6	13.3	9.1	18.5
取扱い規約治療前ステージ												
I期	28.5	39.1	36.2	42.0	24.8	30.4	27.4	33.6	27.1	35.6	33.4	37.7
II期	21.9	31.4	29.3	33.5	16.6	21.1	18.6	23.7	20.3	28.0	26.4	29.7
III期	9.6	13.3	11.6	15.1	9.2	11.5	9.0	14.4	9.5	12.8	11.4	14.3
IV期	3.4	4.7	3.5	6.1	3.2	3.9	2.1	6.6	3.3	4.5	3.5	5.8
不詳	14.1	20.4	14.7	27.1	13.3	16.8	9.7	25.9	13.8	19.4	14.7	24.7
観血的治療												
有	34.6	47.0	44.4	49.6	35.3	41.8	37.7	45.9	34.8	45.7	43.5	47.9
原発巣・治癒切除	36.6	49.7	47.0	52.5	36.8	43.6	39.3	47.9	36.7	48.1	45.8	50.5
原発巣・非治癒切除	10.2	14.3	8.0	22.6	11.1	12.5	4.0	26.5	10.4	14.0	8.5	21.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	24.5	33.1	23.6	43.5	-	-			25.5	33.6	25.0	42.8
無	10.0	14.4	13.3	15.5	11.8	15.0	13.6	16.6	10.6	14.6	13.7	15.5

## 肝内胆管がん(肝内胆管癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2009	266	1,468	1,333	98.2	69.6 歳
I 期	118	184	128	98.4	71.5 歳
II 期	112	183	146	96.7	70.2 歳
III 期	203	551	520	98.4	69.4 歳
IV 期	199	476	466	98.3	68.1 歳

## (1) 生存状況把握割合

対象者は、1,468 例で、そのうち 10 年以内に死亡していたのは 1,333 例、打ち切りが 27 例であった。全体として、生存状況把握割合は 98.2%であった。

男性が約 62%を占めた。年代をみると、70 歳代が最も多く男性で約 35%、女性は約 37%を占めた。UICC TNM 総合ステージ別にみると、全体で I 期と II 期が約 13%、III 期が約 38%、IV 期が約 32%であった。32.5%に観血的治療が実施されていた。発見経緯としては、他疾患経過観察中が約 38%を占めた。

## (2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-4②-1 に示す。性別にみると、

表 3-4②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	904	100.0	564	100.0	1,468	100.0
拠点病院等	875	96.8	543	96.3	1,418	96.6
都道府県推薦病院	29	3.2	21	3.7	50	3.4
年齢						
平均年齢 (SD)	68.8	10.5	70.8	11.1	69.6	10.8
0-14 歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39 歳	10	1.1	(7-9)		18	1.2
40 歳代	35	3.9	18	3.2	53	3.6
50 歳代	123	13.6	56	9.9	179	12.2
60 歳代	283	31.3	149	26.4	432	29.4
70 歳代	313	34.6	211	37.4	524	35.7
80 歳以上	140	15.5	122	21.6	262	17.8
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	105	11.6	79	14.0	184	12.5
II 期	116	12.8	67	11.9	183	12.5
III 期	341	37.7	210	37.2	551	37.5
IV 期	298	33.0	178	31.6	476	32.4
不詳	44	4.9	30	5.3	74	5.0
取扱い規約治療前ステージ						
I 期	53	5.9	36	6.4	89	6.1
II 期	141	15.6	89	15.8	230	15.7
III 期	137	15.2	89	15.8	226	15.4
IV 期	466	51.5	293	52.0	759	51.7
不詳	65	7.2	43	7.6	108	7.4
空欄	42	4.6	14	2.5	56	3.8
観血的治療						
有	294	32.5	183	32.4	477	32.5
原発巣・治癒切除	232	25.7	142	25.2	374	25.5
原発巣・非治癒切除	40	4.4	26	4.6	66	4.5
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	22	2.4	15	2.7	37	2.5
無	610	67.5	381	67.6	991	67.5
発見経緯						
がん検診	15	1.7	(7-9)		24	1.6
健康診断・人間ドック	69	7.6	31	5.5	100	6.8
他疾患経過観察中	350	38.7	203	36.0	553	37.7
その他・不明	470	52.0	321	56.9	791	53.9

## (3)10年生存率

10年生存率を表3-4②-2に示す。全体として、相対生存率は全体で約10%であった。UICC TNM分類別にみると、I期では相対生存率は全体で約40%である。観血的治療を受けたものの割合は32.5%であるが、観血的治療を受けたものの相対生存率は約29%であった。

表3-4②-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	6.5	9.1	7.0	11.5	10.0	12.3	9.4	15.7	7.9	10.4	8.6	12.3
拠点病院等	6.7	9.2	7.1	11.7	10.2	12.5	9.5	15.9	8.0	10.5	8.7	12.5
都道府県推薦病院	-	-	-	-	-	-	-	-	4.0	6.6	1.2	20.0
年齢												
0-39歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40歳代	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	6.0	6.1	1.6	15.2
50歳代	11.5	12.5	7.1	19.6	19.2	19.9	10.3	31.8	13.9	14.8	9.8	20.8
60歳代	8.1	9.7	6.3	14.0	10.1	10.9	6.4	16.8	8.8	10.2	7.3	13.6
70歳代	6.5	10.3	6.5	15.3	9.4	12.1	7.6	17.8	7.6	11.0	8.0	14.6
80歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	12.9	4.4	28.9	1.7	5.3	1.8	12.5
UICC TNM 総合ステージ												
I期	26.0	37.2	25.7	49.7	34.7	43.3	30.4	56.4	29.8	40.1	31.4	49.2
II期	13.6	18.7	11.0	28.3	25.4	34.6	21.1	49.7	17.9	24.5	17.3	32.7
III期	4.1	5.5	3.1	8.9	4.7	5.3	2.6	9.4	4.3	5.4	3.6	7.9
IV期	0.6	0.7	0.1	2.8	0.6	0.6	0.1	3.2	0.6	0.7	0.2	2.1
不詳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
取扱い規約治療前ステージ												
I期	28.3	40.5	24.3	58.3	36.1	45.5	26.5	64.8	31.5	42.7	30.1	55.9
II期	16.2	22.6	14.8	31.9	29.7	38.7	26.8	51.4	21.5	29.1	22.2	36.7
III期	6.4	8.2	3.9	14.6	8.7	11.0	4.9	20.3	7.3	9.3	5.5	14.4
IV期	1.8	2.3	1.1	4.4	1.8	2.0	0.8	4.3	1.8	2.2	1.2	3.7
不詳	4.7	7.1	1.9	17.8	-	-	-	-	2.9	4.1	1.1	10.6
観血的治療												
有	17.7	23.9	18.2	30.2	29.2	36.1	28.1	44.5	22.1	28.7	24.0	33.8
原発巣・治癒切除	20.0	27.3	20.6	34.8	33.6	41.9	32.3	51.7	25.2	33.1	27.4	39.0
原発巣・非治癒切除	5.7	6.8	1.3	19.6	-	-	-	-	8.5	10.1	3.8	20.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	-	-	-	-	-	-	-	-	14.1	18.1	6.6	35.1
無	1.2	1.7	0.8	3.4	0.3	0.3	0.0	1.7	0.9	1.2	0.6	2.2

## 5. 小細胞肺がん(小細胞肺癌)・非小細胞肺がん(非小細胞肺癌)

## 小細胞肺がん(小細胞肺癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2009	265	3,370	3,102	98.1	69.8 歳
I 期	144	261	195	96.6	71.6 歳
II 期	105	191	162	98.4	70.3 歳
III 期	249	1,190	1,073	98.0	69.5 歳
IV 期	250	1,678	1,630	98.4	69.6 歳

## (1) 生存状況把握割合

対象者は、3,370 例で、そのうち 10 年以内に死亡していた者は、3,102 例、打ち切りが 65 例で、全体として生存状況把握割合は 98.1%であった。

## (2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-5①-1 に示す。対象者は、男性が 83.3%を占め、70 歳代が最も多かった。UICC

TNM分類総合ステージ別にみると、全体としてIV期が約 50%、次いでIII期が約 35%であった。病期分布は男女別にみてもほぼ同様であった。観血的治療実施を受けた者の割合は、非小細胞肺癌と比較して低く、約 9%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が約 29%であった。

表 3-5①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	2,807	100.0	563	100.0	3,370	100.0
拠点病院等	2,757	98.2	560	99.5	3,317	98.4
都道府県推薦病院	50	1.8	(1-3)		53	1.6
年齢						
平均年齢 (SD)	70.0	8.6	69.1	9.7	69.8	8.8
0-14 歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39 歳	(4-6)		(1-3)		(7-9)	
40 歳代	36	1.3	11	2.0	47	1.4
50 歳代	272	9.7	59	10.5	331	9.8
60 歳代	978	34.8	213	37.8	1,191	35.3
70 歳代	1,147	40.9	196	34.8	1,343	39.9
80 歳以上	370	13.2	81	14.4	451	13.4
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	224	8.0	37	6.6	261	7.7
II 期	163	5.8	28	5.0	191	5.7
III 期	979	34.9	211	37.5	1,190	35.3
IV 期	1,403	50.0	275	48.8	1,678	49.8
不詳	38	1.4	12	2.1	50	1.5
観血的治療						
有	245	8.7	47	8.3	292	8.7
原発巣・治癒切除	207	7.4	39	6.9	246	7.3
原発巣・非治癒切除	29	1.0	(4-6)		34	1.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	(7-9)		(1-3)		12	0.4
無	2,562	91.3	516	91.7	3,078	91.3
発見経緯						
がん検診	133	4.7	20	3.6	153	4.5
健康診断・人間ドック	240	8.6	27	4.8	267	7.9
他疾患経過観察中	795	28.3	166	29.5	961	28.5
その他・不明	1,639	58.4	350	62.2	1,989	59.0

## (3)10年生存率

10年生存率を表3-5①-2に示す。全体での10年相対生存率は、IV期が半数近くを占めることから低く約9%であった。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、I期では相対生存率が33.8%であった。観血的治療を受けた者の割合は少ないが、相対生存率は36.3%であった。

表3-5①-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	6.0	8.2	7.0	9.4	9.1	10.6	8.0	13.7	6.6	8.6	7.5	9.7
拠点病院等	6.2	8.3	7.1	9.6	9.2	10.7	8.0	13.7	6.7	8.7	7.6	9.9
都道府県推薦病院	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-			0.0	0.0	0.0	0.0
年齢												
0-39歳	-	-			-	-			-	-		
40歳代	15.5	16.0	5.9	30.7	-	-			22.5	23.0	11.7	36.7
50歳代	15.5	16.8	12.4	21.9	13.1	13.5	6.1	23.9	15.1	16.2	12.2	20.7
60歳代	7.1	8.5	6.7	10.6	10.1	10.8	6.9	15.7	7.6	8.9	7.2	10.8
70歳代	4.1	6.5	4.8	8.5	8.0	10.2	5.9	16.1	4.6	7.0	5.4	8.9
80歳以上	0.9	3.3	0.9	8.8	2.5	4.7	0.9	14.8	1.2	3.8	1.4	8.3
UICC TNM 総合ステージ												
I期	20.7	31.3	23.5	39.8	40.0	46.7	28.3	64.6	23.4	33.8	26.5	41.6
II期	14.9	19.9	13.2	27.9	-	-			14.2	18.6	12.7	25.6
III期	7.9	10.2	8.1	12.5	11.4	13.4	8.8	19.1	8.6	10.8	8.8	12.9
IV期	1.2	1.5	0.9	2.5	2.5	2.9	1.2	5.9	1.4	1.8	1.2	2.6
不詳	11.7	15.2	4.9	31.9	-	-			13.1	16.2	6.6	30.0
観血的治療												
有	25.3	34.5	27.3	42.2	38.5	45.7	29.1	62.1	27.4	36.3	29.7	43.3
原発巣・治癒切除	27.6	37.5	29.4	46.0	40.4	48.0	29.6	65.7	29.6	39.2	31.7	46.9
原発巣・非治癒切除	-	-			-	-			18.3	23.0	9.3	41.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	-	-			-	-			-	-		
無	4.2	5.6	4.6	6.7	6.4	7.4	5.2	10.2	4.5	5.9	5.0	7.0

## 非小細胞肺がん(非小細胞肺癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2009	280	32,719	23,791	97.7	69.8 歳
0期※	24	40	19	95.0	68.8 歳
I期	275	12,829	5,886	97.4	70.0 歳
II期	260	2,276	1,648	97.8	70.1 歳
III期	278	7,869	6,899	98.2	69.8 歳
IV期	279	9,194	8,848	97.8	69.0 歳

## (1) 生存状況把握割合

対象者は、32,719 例で、そのうち 10 年以内に死亡していた者は、23,791 例、打ち切りが 744 例で、全体として生存状況把握割合は 97.7%であった。

性が 68.0%を占め、70 歳代が最も多かった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、全体として I 期が約 39%、次いでIV期が約 28%であった。病期分布に女性でI期の割合が男性より多かった。観血的治療実施を受けた者の割合は、45.9%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が約 36%であった。

## (2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-5②-1 に示す。対象者は、男

表 3-5②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	22,261	100.0	10,458	100.0	32,719	100.0
拠点病院等	21,825	98.0	10,228	97.8	32,053	98.0
都道府県推薦病院	436	2.0	230	2.2	666	2.0
年齢						
平均年齢 (SD)	70.1	9.9	69.1	10.8	69.8	10.2
0-14 歳	0	0.0	(1-3)		(1-3)	
15-39 歳	117	0.5	131	1.3	248	0.8
40 歳代	562	2.5	346	3.3	908	2.8
50 歳代	2,425	10.9	1,402	13.4	3,827	11.7
60 歳代	6,832	30.7	3,106	29.7	9,938	30.4
70 歳代	8,429	37.9	3,756	35.9	12,185	37.2
80 歳以上	3,896	17.5	1,716	16.4	5,612	17.2
UICC TNM 分類総合ステージ						
0期※	30	-	10	-	40	-
I期	7,670	34.5	5,159	49.3	12,829	39.2
II期	1,759	7.9	517	4.9	2,276	7.0
III期	6,074	27.3	1,795	17.2	7,869	24.1
IV期	6,359	28.6	2,835	27.1	9,194	28.1
不詳	399	1.8	152	1.5	551	1.7
観血的治療						
有	9,157	41.1	5,864	56.1	15,021	45.9
原発巣・治癒切除	8,375	37.6	5,504	52.6	13,879	42.4
原発巣・非治癒切除	479	2.2	197	1.9	676	2.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	303	1.4	163	1.6	466	1.4
無	13,104	58.9	4,594	43.9	17,698	54.1
発見経緯						
がん検診	1,569	7.0	1,099	10.5	2,668	8.2
健康診断・人間ドック	2,951	13.3	1,714	16.4	4,665	14.3
他疾患経過観察中	8,042	36.1	3,568	34.1	11,610	35.5
その他・不明	9,699	43.6	4,077	39.0	13,776	42.1

※全体集計には含まれていない



## (3)10年生存率

10年生存率を表3-5②-2に示す。全体での10年相対生存率は、男性が28.0%、女性が49.1%と女性でやや高かった。UICC TNM分類総合ステージ別にみても、男性より女性で相対生存率がやや高い傾向にあった。観血的治療を受けた者(原発巣・治癒切除)では相対生存率は男性で61.7%、女性で82.4%となっていた。

表3-5②-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	19.5	28.0	27.3	28.8	40.6	49.1	47.9	50.2	26.3	35.0	34.4	35.7
拠点病院等	19.6	28.1	27.4	28.9	40.8	49.3	48.1	50.4	26.4	35.1	34.5	35.8
都道府県推薦病院	15.4	22.8	18.0	28.1	33.8	40.8	33.5	48.2	21.7	29.3	25.1	33.6
年齢												
0-39歳	33.1	33.5	24.7	42.6	42.6	42.9	34.3	51.3	38.3	38.7	32.4	44.9
40歳代	32.0	33.0	29.0	37.0	48.3	49.1	43.6	54.4	38.2	39.2	35.9	42.4
50歳代	34.3	37.2	35.1	39.2	53.2	55.1	52.3	57.8	41.3	43.8	42.1	45.4
60歳代	26.8	32.0	30.8	33.3	50.5	54.4	52.5	56.3	34.2	39.2	38.1	40.2
70歳代	15.3	25.2	23.9	26.5	37.8	48.1	46.1	50.1	22.2	32.6	31.5	33.7
80歳以上	4.5	16.2	13.9	18.7	16.6	35.7	32.0	39.7	8.2	23.0	21.0	25.2
UICC TNM 総合ステージ												
0期※	39.3	51.1	28.6	73.0	-	-			52.0	64.2	43.9	81.7
I期	41.6	61.3	59.7	63.0	71.3	86.3	84.8	87.8	53.6	72.0	70.8	73.1
II期	23.8	32.8	30.1	35.6	35.4	42.5	37.5	47.5	26.5	35.0	32.6	37.5
III期	9.9	13.3	12.3	14.4	14.8	17.4	15.5	19.4	11.0	14.2	13.3	15.1
IV期	1.4	1.8	1.5	2.3	2.4	2.9	2.3	3.7	1.7	2.2	1.8	2.5
不詳	4.1	6.9	4.1	10.9	7.9	11.9	6.3	19.7	5.1	8.3	5.6	11.8
観血的治療												
有	42.3	59.3	57.9	60.7	67.4	80.0	78.5	81.4	52.1	67.8	66.7	68.8
原発巣・治癒切除	44.0	61.7	60.2	63.2	69.4	82.4	80.9	83.8	54.1	70.3	69.2	71.4
原発巣・非治癒切除	18.4	25.3	20.7	30.3	24.0	28.9	22.0	36.5	20.1	26.3	22.5	30.5
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	32.2	46.2	38.6	53.9	49.6	59.6	50.0	68.5	38.4	51.1	45.1	57.0
無	3.3	5.2	4.7	5.7	5.7	7.6	6.7	8.6	3.9	5.8	5.4	6.3

※全体集計には含まれていない

## 6. 女性乳がん(女性乳癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2009	280	26,197	5,475	96.6	58.7 歳
0期※	259	3,751	253	95.5	56.1 歳
I期	279	11,183	1,212	96.6	58.9 歳
II期	280	10,271	1,877	96.4	58.3 歳
III期	273	3,148	1,191	96.9	59.1 歳
IV期	254	1,343	1,085	97.3	59.7 歳

## (1) 生存状況把握割合

集計対象は、26,197 例で、10 年以内に亡くなっていたのが 5,475 例、打ち切りが 890 例であった。集計対象全体での生存状況把握割合は 96.6%であった。

## (2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-6-1 に示す。診断時の年齢をみると、60 歳代が最も多く、次いで 50、40 歳代であった。また、35 歳未満は、609 例であった(2.3%)。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、I 期が最も多く約 43%、次いで II 期が約 39%であった。観血的治療の実施割合は、約 91%であった。発見経緯を見ると、大腸や肺と比較してがん検診がやや多かった。

表 3-6-1 対象者の属性

	対象数	(%)
全体	26,197	100.0
拠点病院等	25,681	98.0
都道府県推薦病院	516	2.0
年齢		
平均年齢 (SD)	58.7	13.4
0-14 歳	0	0.0
15-39 歳	1,802	6.9
40 歳代	5,558	21.2
50 歳代	6,252	23.9
60 歳代	6,824	26.0
70 歳代	3,910	14.9
80 歳以上	1,851	7.1
35 歳未満 (再掲)	609	2.3
UICC TNM 分類総合ステージ		
0期※	3,751	-
I期	11,183	42.7
II期	10,271	39.2
III期	3,148	12.0
IV期	1,343	5.1
不詳	252	1.0
観血的治療		
有	23,720	90.5
原発巣・治癒切除	21,575	82.4
原発巣・非治癒切除	1,052	4.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	1,093	4.2
無	2,477	9.5
発見経緯		
がん検診	5,514	21.0
健康診断・人間ドック	1,427	5.4
他疾患経過観察中	2,798	10.7
その他・不明	16,458	62.8

## (3) 10 年生存率

10 年生存率を表 3-6-2 に示す。全体として、相対生存率は 87.8%であった。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、I 期、II 期では相対生存率は 90%以上であるが、IV 期では約 19%にとどまった。なお、観血的治療実施を受けた者(原発巣・治癒切除)では、相対生存率は 93.3%であった。

表 3-6-2 属性別 10 年相対生存率

	女性			
	実測	相対	95%信頼区間	
全体	78.8	87.8	87.2	88.3
拠点病院等	78.9	87.8	87.3	88.4
都道府県推薦病院	75.0	84.9	80.4	88.9
年齢				
0-39 歳	85.3	85.9	84.1	87.5
40 歳代	88.3	89.7	88.8	90.5
50 歳代	83.9	86.6	85.7	87.5
60 歳代	82.1	88.1	87.1	89.1
70 歳代	68.7	86.7	84.8	88.5
80 歳以上	35.1	88.3	82.7	93.9
35 歳未満 (再掲)	84.0	84.5	81.2	87.2
UICC TNM 分類総合ステージ				
0期※	93.1	100.0	100.0	100.0
I期	89.0	99.0	98.3	99.6
II期	81.5	90.7	89.8	91.5
III期	61.6	68.6	66.7	70.5
IV期	17.4	19.4	17.1	21.7
不詳	55.9	67.3	59.6	74.4
観血的治療				
有	83.4	92.4	91.9	92.9
原発巣・治癒切除	84.2	93.3	92.7	93.8
原発巣・非治癒切除	73.3	82.0	78.8	84.9
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	76.7	85.6	82.7	88.3
無	34.7	41.4	39.1	43.7

## 7. 食道がん(食道癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2009	276	9,604	6,996	97.6	68.0 歳
0期※	180	956	390	97.2	68.1 歳
I期	258	2,821	1,415	97.7	68.1 歳
II期	264	1,912	1,322	96.8	68.7 歳
III期	261	2,476	2,062	97.8	67.7 歳
IV期	265	2,170	2,005	98.3	66.9 歳

### (1) 生存状況把握割合

集計対象 9,604 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 6,996 例、打ち切りが 226 例で、全体として生存状況把握割合は 97.6%であった。

が 85.6%を占めた。年齢をみると、60 歳代が 37.9%、次いで 70 歳代が 32.8%と多かった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、III期が 25.8%、IV期が 22.6%であった。観血的治療は 46.4%に実施されていた。

### (2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-7-1 に示す。性別をみると、男性

表 3-7-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	8,224	100.0	1,380	100.0	9,604	100.0
拠点病院等	8,095	98.4	1,361	98.6	9,456	98.5
都道府県推薦病院	129	1.6	19	1.4	148	1.5
年齢						
平均年齢 (SD)	67.9	9.0	68.4	10.7	68.0	9.3
0-14 歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39 歳	15	0.2	(7-9)		22	0.2
40 歳代	137	1.7	45	3.3	182	1.9
50 歳代	1,324	16.1	231	16.7	1,555	16.2
60 歳代	3,192	38.8	450	32.6	3,642	37.9
70 歳代	2,733	33.2	416	30.1	3,149	32.8
80 歳以上	823	10.0	231	16.7	1,054	11.0
UICC TNM 分類総合ステージ						
0期※	797	-	159	-	956	-
I期	2,476	30.1	345	25.0	2,821	29.4
II期	1,570	19.1	342	24.8	1,912	19.9
III期	2,107	25.6	369	26.7	2,476	25.8
IV期	1,879	22.8	291	21.1	2,170	22.6
不詳	192	2.3	33	2.4	225	2.3
観血的治療						
有	3,800	46.2	661	47.9	4,461	46.4
原発巣・治癒切除	3,279	39.9	565	40.9	3,844	40.0
原発巣・非治癒切除	319	3.9	48	3.5	367	3.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	202	2.5	48	3.5	250	2.6
無	4,424	53.8	719	52.1	5,143	53.6
発見経緯						
がん検診	378	4.6	51	3.7	429	4.5
健康診断・人間ドック	632	7.7	71	5.1	703	7.3
他疾患経過観察中	2,066	25.1	246	17.8	2,312	24.1
その他・不明	5,148	62.6	1,012	73.3	6,160	64.1

※全体集計値には含まれていない

## (3)10 年生存率

10 年生存率を表 3-7-2 に示す。相対生存率は、男性が 33.3%、女性が 39.7%であった。I 期では、66.1%であるが、II 期では 38.6%であった。観血的治療を受けたものの相対生存率は、56.3%であった。

表 3-7-2 属性別 10 年生存率

	男性			女性			全体		
	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間
全体	24.8	33.3	32.0 34.5	33.7	39.7	36.8 42.7	26.0	34.2	33.1 35.4
拠点病院等	25.0	33.5	32.2 34.8	34.0	40.1	37.1 43.1	26.3	34.5	33.3 35.7
都道府県推薦病院	12.3	17.3	10.3 26.3	-	-		12.2	16.9	10.4 25.1
年齢									
0-39 歳	-	-		-	-		-	-	
40 歳代	31.9	32.9	24.9 41.1	40.0	40.7	26.2 54.7	33.9	34.8	27.8 41.9
50 歳代	34.0	36.8	34.0 39.6	47.8	49.4	42.6 56.0	36.1	38.7	36.1 41.3
60 歳代	29.2	34.9	33.0 36.8	39.9	42.9	38.0 47.8	30.5	35.9	34.1 37.7
70 歳代	20.5	32.6	30.2 35.1	32.3	40.6	34.9 46.3	22.1	33.7	31.5 36.0
80 歳以上	5.5	19.4	14.3 25.5	7.7	16.7	10.0 25.6	6.0	18.5	14.3 23.5
UICC TNM 分類総合ステージ									
0 期※	55.4	77.3	72.3 82.0	74.9	91.0	81.8 98.4	58.6	79.7	75.3 83.9
I 期	47.8	65.4	62.7 68.1	59.1	70.3	63.8 76.2	49.2	66.1	63.5 68.5
II 期	27.6	37.0	34.0 40.0	38.4	46.1	39.8 52.3	29.5	38.6	36.0 41.4
III 期	14.0	17.9	16.0 19.8	22.9	26.1	21.4 31.2	15.3	19.1	17.4 21.0
IV 期	5.3	6.8	5.6 8.2	12.0	13.3	9.5 17.9	6.2	7.7	6.5 9.1
不詳	8.5	12.8	7.5 19.8	27.9	37.7	18.5 59.6	11.4	16.6	11.0 23.5
観血的治療									
有	42.6	55.6	53.5 57.6	52.3	60.2	55.7 64.5	44.0	56.3	54.4 58.2
原発巣・治癒切除	45.1	58.7	56.5 61.0	56.0	64.4	59.5 69.0	46.7	59.6	57.6 61.6
原発巣・非治癒切除	22.7	30.6	24.6 37.1	10.7	11.7	4.3 23.4	21.1	28.1	22.7 33.9
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	33.2	43.5	35.0 52.1	50.6	58.0	40.8 73.2	36.5	46.3	38.6 54.0
無	9.2	13.3	12.0 14.6	16.3	20.3	17.0 23.8	10.2	14.3	13.1 15.5

※全体集計値には含まれていない

## 8. 膵臓がん(膵臓癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2009	278	8,862	8,282	98.3	69.7 歳
0期※	74	140	50	98.6	67.9 歳
I期	207	554	407	98.9	71.6 歳
II期	269	1,982	1,734	98.0	70.0 歳
III期	263	1,732	1,669	98.3	69.1 歳
IV期	276	4,312	4,212	98.4	69.2 歳

### (1) 生存状況把握割合

集計対象 8,862 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 8,282 例、打ち切りが 152 例で、全体として生存状況把握割合は 98.3%であった。

### (2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-8-1 に示す。男性が 55.8%、女性が 44.2%であった。年代は、70 歳以上が最も多く 34.1%であった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、IV期が最も多く約半数を占めた。

表 3-8-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	4,943	100.0	3,919	100.0	8,862	100.0
拠点病院等	4,811	97.3	3,808	97.2	8,619	97.3
都道府県推薦病院	132	2.7	111	2.8	243	2.7
年齢						
平均年齢 (SD)	68.5	10.5	71.1	10.9	69.7	10.8
0-14 歳	0	0.0	(1-3)		(1-3)	
15-39 歳	37	0.7	33	0.8	70	0.8
40 歳代	186	3.8	99	2.5	285	3.2
50 歳代	694	14.0	410	10.5	1,104	12.5
60 歳代	1,632	33.0	1,096	28.0	2,728	30.8
70 歳代	1,662	33.6	1,358	34.7	3,020	34.1
80 歳以上	732	14.8	922	23.5	1,654	18.7
UICC TNM 分類総合ステージ						
0期※	93	-	47	-	140	-
I期	304	6.2	250	6.4	554	6.3
II期	1,115	22.6	867	22.1	1,982	22.4
III期	944	19.1	788	20.1	1,732	19.5
IV期	2,420	49.0	1,892	48.3	4,312	48.7
不詳	160	3.2	122	3.1	282	3.2
観血的治療						
有	1,468	29.7	999	25.5	2,467	27.8
原発巣・治癒切除	1,074	21.7	779	19.9	1,853	20.9
原発巣・非治癒切除	251	5.1	136	3.5	387	4.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	143	2.9	84	2.1	227	2.6
無	3,475	70.3	2,920	74.5	6,395	72.2
発見経緯						
がん検診	53	1.1	33	0.8	86	1.0
健康診断・人間ドック	219	4.4	121	3.1	340	3.8
他疾患経過観察中	1,474	29.8	1,039	26.5	2,513	28.4
その他・不明	3,197	64.7	2,726	69.6	5,923	66.8

## (3)10年生存率

10年生存率を表3-8-2に示す。全体で見ると、IV期が約半数を占めることから相対生存率は6.7%と低かった。UICC TNM分類総合ステージI期では、相対生存率は35.1%であった。

表3-8-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	5.1	6.9	6.1	7.8	5.3	6.5	5.7	7.4	5.2	6.7	6.1	7.3
拠点病院等	5.1	6.8	6.0	7.7	5.3	6.5	5.6	7.4	5.2	6.7	6.1	7.3
都道府県推薦病院	6.2	7.9	3.7	14.4	5.3	6.8	2.8	13.6	5.8	7.4	4.2	11.9
年齢												
0-39歳	26.4	26.7	13.6	41.8	23.5	23.7	11.2	38.8	25.2	25.4	15.9	36.0
40歳代	14.8	15.3	10.4	21.0	9.5	9.6	4.7	16.6	13.0	13.3	9.6	17.7
50歳代	7.6	8.3	6.3	10.6	7.9	8.2	5.8	11.2	7.8	8.2	6.7	10.1
60歳代	5.7	6.8	5.5	8.3	6.8	7.3	5.8	9.1	6.1	7.0	6.0	8.1
70歳代	3.7	6.1	4.7	7.8	5.4	7.0	5.5	8.7	4.5	6.5	5.5	7.7
80歳以上	0.9	3.2	1.4	6.7	1.2	2.8	1.5	4.9	1.1	3.0	1.8	4.7
UICC TNM分類総合ステージ												
0期※	58.9	82.9	67.8	95.9	74.5	89.4	71.3	100.0	64.2	85.2	73.9	95.0
I期	25.2	36.3	29.5	43.5	26.8	33.6	26.9	40.8	25.9	35.1	30.2	40.1
II期	11.1	14.9	12.5	17.5	11.4	13.7	11.3	16.4	11.3	14.4	12.6	16.2
III期	1.7	2.3	1.3	3.6	2.6	3.1	2.0	4.7	2.1	2.7	1.9	3.7
IV期	0.9	1.1	0.7	1.7	0.8	0.9	0.5	1.5	0.9	1.0	0.7	1.4
不詳	5.9	9.2	4.6	16.3	4.9	6.8	2.5	14.5	5.5	8.4	4.8	13.3
観血的治療												
有	15.4	20.5	18.1	23.1	18.8	22.4	19.6	25.4	16.7	21.3	19.4	23.2
原発巣・治癒切除	18.5	24.8	21.7	28.0	20.9	25.1	21.7	28.6	19.6	24.9	22.6	27.2
原発巣・非治癒切除	5.1	6.5	3.5	10.8	7.2	8.6	4.3	14.8	5.9	7.3	4.7	10.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	8.9	12.4	6.8	20.1	17.5	20.4	11.9	31.0	12.0	15.4	10.4	21.5
無	0.7	0.9	0.6	1.4	0.6	0.8	0.5	1.2	0.6	0.9	0.6	1.2

## 9. 子宮頸がん(子宮頸癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2009	249	5,445	1,849	95.2	53.9 歳
0期※	254	6,689	137	86.3	40.3 歳
I期	230	2,410	267	93.6	48.0 歳
II期	194	1,005	354	96.0	58.8 歳
III期	191	1,269	632	96.5	57.3 歳
IV期	186	698	556	96.6	61.0 歳

### (1) 生存状況把握割合

集計対象は 5,445 例で、10 年以内に亡くなっていたのが 1,849 例、打ち切りが 263 例であった。集計対象全体での生存状況把握割合は 95.2%であった。

### (2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-9-1 に示す。年例を見ると、40 歳未満の若い世代が多い傾向にあった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、I 期が最も多く 44.3%で最も多く、次いでIII期が約 23%、II 期が約 19%であった。観血的治療の実施割合は約 57%であった。発見経緯を見ると、がん検診が約 16%であった。

表 3-9-1 対象者の属性

	全体	
	症例数	(%)
全体	5,445	100.0
拠点病院等	5,393	99.0
都道府県推薦病院	52	1.0
年齢		
平均年齢 (SD)	53.9	15.9
0-14 歳	0	0.0
15-39 歳	1,181	21.7
40 歳代	1,215	22.3
50 歳代	1,040	19.1
60 歳代	989	18.2
70 歳代	614	11.3
80 歳以上	406	7.5
UICC TNM 分類総合ステージ		
0期※	6,689	-
I期	2,410	44.3
II期	1,005	18.5
III期	1,269	23.3
IV期	698	12.8
不詳	63	1.2
観血的治療		
有	3,101	57.0
原発巣・治癒切除	2,708	49.7
原発巣・非治癒切除	228	4.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	165	3.0
無	2,344	43.0
発見経緯		
がん検診	864	15.9
健康診断・人間ドック	171	3.1
他疾患経過観察中	479	8.8
その他・不明	3,931	72.2

### (3) 10 年生存率

10 年生存率を表 3-9-2 に示す。実測生存率が約 66%、相対生存率が約 71%であった。UICC TNM 分類総合ステージ別に相対生存率をみると、I 期が約 93%、II 期が約 72%、III期が約 54%、IV期が約 21%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は約 87%であり、そのうち原発巣・治癒切除例では約 88%であった。

表 3-9-2 属性別 10 年相対生存率

	女性			
	実測	相対	95%信頼区間	
全体	65.5	70.5	69.1	71.9
拠点病院等	65.4	70.5	69.1	71.8
都道府県推薦病院	72.1	76.0	60.5	86.9
年齢				
0-39 歳	82.1	82.6	80.2	84.7
40 歳代	77.0	78.1	75.6	80.4
50 歳代	66.8	68.9	65.9	71.8
60 歳代	63.8	68.4	65.1	71.5
70 歳代	42.8	53.6	48.6	58.5
80 歳以上	17.8	41.4	33.0	50.6
UICC TNM 分類総合ステージ				
0期※	97.8	100.0	99.6	100.0
I期	88.7	93.1	91.7	94.3
II期	64.1	71.8	68.4	75.1
III期	49.4	54.4	51.3	57.4
IV期	18.6	20.7	17.5	24.0
不詳	36.5	40.3	27.4	53.2
観血的治療				
有	84.5	87.2	85.9	88.5
原発巣・治癒切除	85.6	88.3	86.8	89.6
原発巣・非治癒切除	73.6	76.6	70.0	82.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	81.9	84.9	77.7	90.2
無	40.1	47.4	45.0	49.8

## 10. 子宮体がん(子宮体癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2009	256	5,265	1,234	96.3	59.1 歳
0期※	35	50	(1-3)	92.0	51.2 歳
I期	248	3,309	405	95.8	58.7 歳
II期	172	479	98	95.6	58.9 歳
III期	215	977	341	97.0	58.4 歳
IV期	173	417	346	98.1	63.1 歳

### (1) 生存状況把握割合

集計対象は 5,265 例で、10 年以内に亡くなっていたのが 1,234 例、打ち切りが 197 例であった。集計対象全体での生存状況把握割合は 96.3%であった。

### (2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-10-1 に示す。年代を見ると、50 歳代が最も多く 32.3%であった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、I 期が最も多く 62.8%を占めた。

表 3-10-1 対象者の属性

	全体	
	対象数	(%)
全体	5,265	100.0
拠点病院等	5,194	98.7
都道府県推薦病院	71	1.3
年齢		
平均年齢 (SD)	59.1	12.2
0-14 歳	0	0.0
15-39 歳	336	6.4
40 歳代	706	13.4
50 歳代	1,698	32.3
60 歳代	1,492	28.3
70 歳代	758	14.4
80 歳以上	275	5.2
UICC TNM 分類総合ステージ		
0期※	50	-
I期	3,309	62.8
II期	479	9.1
III期	977	18.6
IV期	417	7.9
不詳	83	1.6
観血的治療		
有	4,806	91.3
原発巣・治癒切除	4,175	79.3
原発巣・非治癒切除	280	5.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	351	6.7
無	459	8.7
発見経緯		
がん検診	475	9.0
健康診断・人間ドック	119	2.3
他疾患経過観察中	669	12.7
その他・不明	4,002	76.0

### (3) 10 年生存率

10 年生存率を表 3-10-2 に示す。相対生存率は、83.0%であり、UICC TNM 分類総合ステージ I 期では 95.3%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、約 88%であり、原発巣・治癒切除例では 90.5%であった。

表 3-10-2 属性別 10 年相対生存率

	全体			
	実測	相対	95%信頼区間	
全体	76.3	83.0	81.7	84.2
拠点病院等	76.3	82.9	81.6	84.2
都道府県推薦病院	77.1	84.6	71.8	93.6
年齢				
0-39 歳	89.6	90.2	86.3	93.1
40 歳代	90.1	91.5	89.0	93.6
50 歳代	85.4	88.2	86.4	89.9
60 歳代	74.4	79.7	77.2	82.0
70 歳代	58.1	72.9	68.3	77.3
80 歳以上	27.5	63.8	51.6	76.6
UICC TNM 総合ステージ				
0期※	98.0	100.0	94.0	100.0
I期	87.6	95.3	94.0	96.5
II期	79.2	87.4	83.1	91.2
III期	64.8	69.2	65.9	72.3
IV期	16.2	17.6	13.9	21.6
不詳	46.9	53.2	40.7	64.8
観血的治療				
有	81.0	87.8	86.5	88.9
原発巣・治癒切除	83.6	90.5	89.3	91.7
原発巣・非治癒切除	50.0	54.0	47.5	60.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	74.9	81.7	76.3	86.3
無	26.4	31.2	26.5	36.1



## 11. 前立腺がん(前立腺癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2009	274	23,779	7,893	97.5	71.3 歳
I 期	135	693	193	97.3	71.7 歳
II 期	369	15,435	3,973	97.4	70.8 歳
III 期	259	3,801	1,141	97.8	71.0 歳
IV 期	268	3,417	2,358	97.6	73.2 歳

### (1) 生存状況把握割合

集計対象は、23,779 例で、10 年以内に亡くなっていたのが 7,893 例、打ち切りが 606 例であった。集計対象全体での生存状況把握割合は 97.5%であった。

### (2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-11-1 に示す。年代を見ると、70 歳代が最も多く 46.4%、80 歳以上が 13.5%で、70 歳以上が 6 割を占めた UICC TNM 分類総合ステージをみると、II 期が最も多く 64.9%を占めた。観血的治療の実施割合は、29.3%であった。発見経緯を見ると、がん検診が約 16%、健康診断・人間ドックが約 12%であった。

表 3-11-1 対象者の属性

	全体	
	症例数	(%)
全体	23,779	100.0
拠点病院等	23,369	98.3
都道府県推薦病院	410	1.7
年齢		
平均年齢 (SD)	71.3	7.6
0-14 歳	0	0.0
15-39 歳	(1-3)	
40 歳代	55	0.2
50 歳代	1,445	6.1
60 歳代	8,046	33.8
70 歳代	11,023	46.4
80 歳以上	3,208	13.5
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	693	2.9
II 期	15,435	64.9
III 期	3,801	16.0
IV 期	3,417	14.4
不詳	433	1.8
観血的治療		
有	6,975	29.3
原発巣・治癒切除	5,843	24.6
原発巣・非治癒切除	709	3.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	423	1.8
無	16,804	70.7
発見経緯		
がん検診	3,910	16.4
健康診断・人間ドック	2,795	11.8
他疾患経過観察中	7,890	33.2
その他・不明	9,184	38.6

### (3) 10 年生存率

10 年生存率を表 3-11-2 に示す。全体の相対生存率は、100.0%であった。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、I 期から III 期では、相対生存率は 100.0%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、治癒切除、非治癒切除例に関わらずほぼ 100%であった。

表 3-11-2 属性別 10 年相対生存率

	全体			
	実測	相対	95%信頼区間	
全体	66.4	100.0	99.1	100.0
拠点病院等	66.5	100.0	99.1	100.0
都道府県推薦病院	56.2	98.2	89.6	100.0
年齢				
0-39 歳	-	-		
40 歳代	83.4	86.2	72.8	94.0
50 歳代	88.0	95.7	93.8	97.4
60 歳代	83.3	100.0	99.4	100.0
70 歳代	63.0	100.0	100.0	100.0
80 歳以上	24.9	92.0	86.4	97.6
UICC TNM 総合ステージ				
I 期	71.8	100.0	100.0	100.0
II 期	73.9	100.0	100.0	100.0
III 期	69.6	100.0	100.0	100.0
IV 期	29.8	47.6	45.1	50.1
不詳	46.2	84.1	75.3	92.6
観血的治療				
有	85.2	100.0	100.0	100.0
原発巣・治癒切除	86.3	100.0	100.0	100.0
原発巣・非治癒切除	81.1	100.0	100.0	100.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	76.5	100.0	97.8	100.0
無	58.5	95.1	93.8	96.3

## 12. 膀胱がん(膀胱癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2009	270	5,874	3,438	97.1	72.5 歳
0 期※	254	3,966	1,564	96.3	70.8 歳
I 期	263	3,326	1,564	96.8	72.0 歳
II 期	252	1,062	688	98.0	73.4 歳
III 期	214	614	452	95.9	72.9 歳
IV 期	229	667	588	98.1	72.4 歳

### (1) 生存状況把握割合

集計対象 5,874 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 3,438 例、打ち切りが 171 例で、全体として生存状況把握割合は 97.1%であった。

### (2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-12-1 に示す。性別をみると、男性が 77.4%を占めた。年齢をみると、70 歳代が最も多く 35.5%、次いで 80 歳以上が 28.4%であった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、I 期が最も多く 56.6%を占めた。観血的治療は 87.7%で実施されていた。

表 3-12-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	4,547	100.0	1,327	100.0	5,874	100.0
拠点病院等	4,459	98.1	1,301	98.0	5,760	98.1
都道府県推薦病院	88	1.9	26	2.0	114	1.9
年齢						
平均年齢 (SD)	71.9	10.7	74.5	11.4	72.5	10.9
0-14 歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39 歳	30	0.7	(7-9)		38	0.6
40 歳代	97	2.1	32	2.4	129	2.2
50 歳代	438	9.6	100	7.5	538	9.2
60 歳代	1,168	25.7	244	18.4	1,412	24.0
70 歳代	1,626	35.8	461	34.7	2,087	35.5
80 歳以上	1,188	26.1	482	36.3	1,670	28.4
UICC TNM 分類総合ステージ						
0 期※	3,215	-	750	-	3,965	-
I 期	2,659	58.5	667	50.3	3,326	56.6
II 期	802	17.6	260	19.6	1,062	18.1
III 期	454	10.0	160	12.1	614	10.5
IV 期	482	10.6	185	13.9	667	11.4
不詳	150	3.3	55	4.1	205	3.5
観血的治療						
有	4,033	88.7	1,118	84.3	5,151	87.7
原発巣・治癒切除	3,117	68.6	789	59.5	3,906	66.5
原発巣・非治癒切除	514	11.3	181	13.6	695	11.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	402	8.8	148	11.2	550	9.4
無	514	11.3	209	15.7	723	12.3
発見経緯						
がん検診	45	1.0	(7-9)	0.6	53	0.9
健康診断・人間ドック	137	3.0	29	2.2	166	2.8
他疾患経過観察中	1,122	24.7	311	23.4	1,433	24.4
その他・不明	3,243	71.3	979	73.8	4,222	71.9

(3)10 年生存率

10 年生存率を表 3-12-2 に示す。相対生存率は、全体で 62.4%であった。70 歳以上では、実測生存率と相対生存率の乖離が大きく、他疾患での亡くなられる場合も多いと考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、I 期が 81.0%、II 期が 52.7%であった。観血的治療有の者の相対生存率は 67.8%であった。

表 3-12-2 属性別 10 年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	40.3	63.7	61.5	66.0	41.2	57.7	53.9	61.4	40.5	62.4	60.4	64.3
拠点病院等	40.3	63.5	61.2	65.8	41.2	57.5	53.7	61.3	40.5	62.2	60.2	64.2
都道府県推薦病院	43.2	74.8	56.5	92.4	-	-			42.8	73.0	57.1	88.3
年齢												
0-39 歳	86.4	87.3	68.4	95.6	-	-			86.4	87.2	70.9	95.0
40 歳代	69.1	71.3	60.7	79.7	71.6	72.8	53.3	85.5	69.6	71.6	62.6	79.0
50 歳代	71.9	77.7	72.8	82.1	78.5	81.1	71.2	88.3	73.1	78.4	74.1	82.3
60 歳代	57.0	68.2	64.7	71.6	62.4	67.3	60.4	73.5	57.9	68.1	65.0	71.1
70 歳代	39.1	65.7	61.7	69.7	43.1	56.3	50.3	62.2	40.0	63.6	60.2	67.0
80 歳以上	10.4	41.2	34.5	48.6	17.7	46.9	38.1	56.5	12.5	43.7	38.2	49.6
UICC TNM 分類総合ステージ												
0 期※	58.3	90.8	88.1	93.5	66.2	88.8	84.1	93.2	59.8	90.4	88.0	92.7
I 期	50.7	80.7	77.6	83.7	58.0	81.9	76.4	87.1	52.2	81.0	78.3	83.6
II 期	34.5	54.7	49.4	60.0	33.5	46.5	38.6	54.5	34.3	52.7	48.3	57.1
III 期	24.6	37.5	31.5	43.8	22.6	32.4	23.5	42.3	24.1	36.2	31.1	41.5
IV 期	10.4	15.3	11.6	19.7	11.5	14.6	9.3	21.1	10.7	15.2	12.0	18.7
不詳	28.5	45.9	34.6	57.8	24.9	34.0	19.4	50.7	27.5	42.6	33.3	52.4
観血的治療												
有	43.7	68.6	66.1	71.0	46.7	64.7	60.6	68.7	44.3	67.8	65.7	69.9
原発巣・治癒切除	47.1	73.6	70.8	76.3	54.5	74.9	70.0	79.6	48.6	73.9	71.5	76.3
原発巣・非治癒切除	22.2	36.6	30.7	42.7	20.8	30.7	22.4	40.0	21.9	35.1	30.2	40.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	44.0	69.9	62.0	77.6	36.1	50.1	39.2	61.1	41.9	64.5	58.0	70.9
無	13.9	24.2	19.2	29.9	11.2	18.3	11.9	26.2	13.1	22.5	18.4	27.1

### 13. 喉頭がん(喉頭癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2009	229	2,578	1,293	97.5	69.1 歳
0期※	68	94	29	96.8	67.0 歳
I期	215	1,022	382	97.8	69.1 歳
II期	186	670	310	96.7	68.7 歳
III期	138	347	204	98.3	69.7 歳
IV期	169	514	379	97.5	69.0 歳

#### (1) 生存状況把握割合

集計対象 2,578 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 1,293 例、打ち切りが 65 例で、全体として生存状況把握割合は 97.5%であった。

#### (2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-13-1 に示す。性別でみると、男性が約 94%を占めた。診断時の年齢分布をみると、70 歳代・60 歳代で約 7 割を占めた。UICC TNM 分類総合ステージの分布をみると、I 期が約 40%を占めた。観血的治療の実施割合は、約 33%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が約 12%であった。

表 3-13-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	2,425	100.0	153	100.0	2,578	100.0
拠点病院等	2,406	99.2	152	99.3	2,558	99.2
都道府県推薦病院	19	0.8	(1-3)		20	0.8
年齢						
平均年齢 (SD)	69.1	9.3	68.3	10.5	69.1	9.4
0-14 歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39 歳	(4-6)		(1-3)		(7-9)	
40 歳代	39	1.6	(4-6)		43	1.7
50 歳代	283	11.7	24	15.7	307	11.9
60 歳代	928	38.3	56	36.6	984	38.2
70 歳代	830	34.2	41	26.8	871	33.8
80 歳以上	339	14.0	26	17.0	365	14.2
UICC TNM 分類総合ステージ						
0期※	89	-	(4-6)	-	94	-
I期	959	39.5	63	41.2	1,022	39.6
II期	635	26.2	35	22.9	670	26.0
III期	330	13.6	17	11.1	347	13.5
IV期	478	19.7	36	23.5	514	19.9
不詳	23	0.9	(1-3)		25	1.0
観血的治療						
有	781	32.2	64	41.8	845	32.8
原発巣・治癒切除	604	24.9	47	30.7	651	25.3
原発巣・非治癒切除	87	3.6	(4-6)		93	3.6
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	90	3.7	11	7.2	101	3.9
無	1,644	67.8	89	58.2	1,733	67.2
発見経緯						
がん検診	20	0.8	0	0.0	20	0.8
健康診断・人間ドック	14	0.6	0	0.0	14	0.5
他疾患経過観察中	302	12.5	14	9.2	316	12.3
その他・不明	2,089	86.1	139	90.8	2,228	86.4

## (3)10年生存率

10年生存率を表3-13-2に示す。実測生存率は49.2%、相対生存率は、全体で69.3%であった。70歳以上では、実測生存率と相対生存率の乖離が大きく、他疾患での亡くなられる場合も多いと考えられる。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、Ⅰ期が88.1%、Ⅱ期が73.4%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は約67%で、その内原発巣・治癒切除例では約65%であった。

表3-13-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	48.4	69.0	66.1	71.8	61.2	73.7	63.8	82.4	49.2	69.3	66.5	72.0
拠点病院等	48.5	69.2	66.3	72.0	61.6	74.2	64.3	82.9	49.3	69.5	66.7	72.2
都道府県推薦病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢												
0-39歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40歳代	58.2	60.1	42.4	74.3	-	-	-	-	59.8	61.6	44.8	75.0
50歳代	70.8	76.7	70.5	82.0	-	-	-	-	72.8	78.5	72.7	83.5
60歳代	59.0	70.2	66.3	73.9	64.3	69.6	54.4	81.4	59.3	70.1	66.4	73.7
70歳代	41.6	68.0	62.4	73.5	48.8	62.8	42.4	80.9	41.9	67.7	62.3	73.0
80歳以上	15.0	56.3	42.7	71.6	-	-	-	-	16.7	59.4	46.4	73.9
UICC TNM分類総合ステージ												
0期※	69.3	93.6	79.0	100.0	-	-	-	-	68.7	92.4	78.3	100.0
Ⅰ期	61.7	88.0	83.5	92.3	71.0	89.2	72.8	100.0	62.3	88.1	83.8	92.2
Ⅱ期	52.0	73.0	67.4	78.4	68.6	78.9	58.1	93.4	52.9	73.4	68.0	78.6
Ⅲ期	40.1	58.9	51.1	66.7	-	-	-	-	40.7	59.1	51.5	66.6
Ⅳ期	23.6	33.6	28.3	39.3	41.7	48.0	29.5	65.6	24.9	34.8	29.6	40.2
不詳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
観血的治療												
有	45.8	65.8	60.7	70.8	63.5	76.3	60.5	88.9	47.2	66.7	61.8	71.4
原発巣・治癒切除	44.3	64.2	58.3	69.9	67.4	79.5	61.2	93.1	45.9	65.4	59.9	70.8
原発巣・非治癒切除	43.9	61.9	46.8	76.2	-	-	-	-	45.4	63.4	48.9	77.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	58.8	81.2	65.8	94.3	-	-	-	-	57.2	78.1	63.9	90.6
無	49.6	70.5	67.0	73.9	59.6	71.9	58.7	83.2	50.1	70.6	67.2	73.9

## 14. 胆嚢がん(胆嚢癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2009	273	2,220	1,812	97.9	73.3 歳
0期※	17	18	(4-6)	100.0	68.3 歳
I期	229	541	258	97.8	72.5 歳
II期	206	479	403	97.9	74.5 歳
III期	147	226	212	97.3	72.6 歳
IV期	248	890	861	98.1	72.7 歳

### (1) 生存状況把握割合

集計対象 2,220 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 1,812 例、打ち切りが 46 例で、全体として生存状況把握割合は 97.9%であった。

### (2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-14-1 に示す。性別をみると、女性が 56.8%を占めた。年齢をみると、70 歳代が最も多く 37.0%、次いで 80 歳以上が 30.2%であった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、IV期が最も多く 40.1%を占めた。観血的治療は 44.4%で実施されていた。

表 3-14-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	959	100.0	1,261	100.0	2,220	100.0
拠点病院等	929	96.9	1,207	95.7	2,136	96.2
都道府県推薦病院	30	3.1	54	4.3	84	3.8
年齢						
平均年齢 (SD)	72.7	10.3	73.7	10.9	73.3	10.7
0-14 歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39 歳	(1-3)		(7-9)		11	0.5
40 歳代	18	1.9	25	2.0	43	1.9
50 歳代	92	9.6	102	8.1	194	8.7
60 歳代	219	22.8	262	20.8	481	21.7
70 歳代	367	38.3	454	36.0	821	37.0
80 歳以上	260	27.1	410	32.5	670	30.2
UICC TNM 分類総合ステージ						
0期※	(7-9)	-	11	-	18	-
I期	264	27.5	277	22.0	541	24.4
II期	194	20.2	285	22.6	479	21.6
III期	109	11.4	117	9.3	226	10.2
IV期	356	37.1	534	42.3	890	40.1
不詳	36	3.8	48	3.8	84	3.8
観血的治療						
有	463	48.3	522	41.4	985	44.4
原発巣・治癒切除	370	38.6	422	33.5	792	35.7
原発巣・非治癒切除	63	6.6	74	5.9	137	6.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	30	3.1	26	2.1	56	2.5
無	496	51.7	739	58.6	1,235	55.6
発見経緯						
がん検診	(7-9)		13	1.0	20	0.9
健康診断・人間ドック	65	6.8	46	3.6	111	5.0
他疾患経過観察中	374	39.0	443	35.1	817	36.8
その他・不明	513	53.5	759	60.2	1,272	57.3

## (3)10年生存率

10年生存率を表3-14-2に示す。相対生存率は、全体で25.2%であった。80歳以上では、実測生存率と相対生存率の乖離が大きく、他疾患での亡くなられる場合も多いと考えられる。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、I期が75.9%、II期が21.2%であった。観血的治療有の者の相対生存率は54.2%であった。

表3-14-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	16.9	27.2	23.4	31.1	17.4	23.6	20.8	26.6	17.2	25.2	22.9	27.6
拠点病院等	17.0	27.4	23.6	31.4	17.5	23.7	20.8	26.7	17.3	25.3	23.0	27.8
都道府県推薦病院	13.3	20.5	6.5	42.7	16.7	22.1	10.9	36.6	15.5	21.6	12.2	33.6
年齢												
0-39歳	-	-			-	-			-	-		
40歳代	-	-			-	-			27.9	28.6	16.0	42.7
50歳代	24.9	26.9	17.8	36.9	31.6	32.7	23.5	42.2	28.4	29.9	23.3	36.8
60歳代	24.8	29.8	23.1	36.9	24.6	26.6	21.1	32.4	24.7	28.1	23.8	32.7
70歳代	16.4	27.0	21.1	33.6	18.1	23.6	19.1	28.4	17.3	25.2	21.5	29.1
80歳以上	7.0	26.4	16.1	40.0	7.7	18.7	13.0	25.8	7.4	21.4	16.0	27.7
UICC TNM分類総合ステージ												
0期※	-	-			-	-			-	-		
I期	47.3	74.7	64.9	84.0	56.1	76.8	68.5	84.6	51.8	75.9	69.6	82.0
II期	10.8	18.6	11.8	27.2	17.1	22.2	16.8	28.2	14.6	21.2	16.8	26.1
III期	6.3	8.8	3.7	17.2	1.8	2.4	0.5	7.5	3.9	5.3	2.5	9.8
IV期	1.8	2.9	1.2	5.9	1.2	1.6	0.7	3.2	1.5	2.1	1.1	3.5
不詳	3.0	6.7	0.5	29.5	8.3	12.9	4.1	28.3	6.1	10.5	3.9	21.9
観血的治療												
有	33.9	54.1	47.2	61.1	40.2	53.9	48.2	59.6	37.3	54.2	49.8	58.6
原発巣・治癒切除	39.7	63.3	55.3	71.3	45.4	61.5	54.9	67.8	42.8	62.5	57.4	67.5
原発巣・非治癒切除	7.9	10.5	3.9	21.6	12.4	15.1	7.4	25.7	10.3	13.1	7.5	20.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	15.7	27.8	8.7	56.6	-	-			25.4	38.0	22.0	56.1
無	0.7	1.1	0.3	2.9	0.9	1.2	0.5	2.5	0.8	1.1	0.6	2.1

## 15. 腎がん(腎癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2009	270	5,799	2,375	96.7	64.8 歳
I 期	257	3,801	1,039	96.6	63.8 歳
II 期	174	341	121	97.1	63.0 歳
III 期	205	638	326	96.7	68.1 歳
IV 期	239	918	820	97.2	67.3 歳

### (1) 生存状況把握割合

集計対象 5,799 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 2,375 例、打ち切りが 189 例で、全体として生存状況把握割合は 96.7%であった。

### (2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-15-1 に示す。性別をみると、男性が 69.2%を占めた。診断時の年齢分布をみると、60 歳代が約 30%、70 歳代が約 29%であった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、I 期が約 66%を占めた。観血的治療の実施割合は、約 85%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が約 46%であった。

表 3-15-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	4,011	100.0	1,788	100.0	5,799	100.0
拠点病院等	3,957	98.7	1,759	98.4	5,716	98.6
都道府県推薦病院	54	1.3	29	1.6	83	1.4
年齢						
平均年齢 (SD)	64.3	12.2	66.2	12.5	64.8	12.3
0-14 歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39 歳	141	3.5	62	3.5	203	3.5
40 歳代	352	8.8	115	6.4	467	8.1
50 歳代	817	20.4	307	17.2	1,124	19.4
60 歳代	1,236	30.8	512	28.6	1,748	30.1
70 歳代	1,099	27.4	555	31.0	1,654	28.5
80 歳以上	366	9.1	237	13.3	603	10.4
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	2,629	65.5	1,172	65.5	3,801	65.5
II 期	203	5.1	138	7.7	341	5.9
III 期	458	11.4	180	10.1	638	11.0
IV 期	653	16.3	265	14.8	918	15.8
不詳	68	1.7	33	1.8	101	1.7
観血的治療						
有	3,403	84.8	1,508	84.3	4,911	84.7
原発巣・治癒切除	3,067	76.5	1,385	77.5	4,452	76.8
原発巣・非治癒切除	146	3.6	46	2.6	192	3.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	190	4.7	77	4.3	267	4.6
無	608	15.2	280	15.7	888	15.3
発見経緯						
がん検診	87	2.2	47	2.6	134	2.3
健康診断・人間ドック	647	16.1	187	10.5	834	14.4
他疾患経過観察中	1,842	45.9	805	45.0	2,647	45.6
その他・不明	1,435	35.8	749	41.9	2,184	37.7



## (3)10年生存率

10年生存率を表3-15-2に示す。相対生存率は、全体で73.7%であった。70歳以上では、実測生存率と相対生存率の乖離が大きく、他疾患での亡くなられる場合も多いと考えられる。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、I期が90.3%、II期が79.2%であった。観血的治療有の者の相対生存率は82.4%でその内原発巣・治癒切除例では85.3%であった。

表3-15-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	56.4	73.4	71.4	75.4	62.7	74.4	71.7	77.1	58.4	73.7	72.1	75.3
拠点病院等	56.9	73.9	71.9	75.9	62.6	74.4	71.6	77.0	58.6	74.1	72.4	75.7
都道府県推薦病院	25.9	34.7	20.3	50.9	-	-			41.0	50.8	37.7	63.6
年齢												
0-39歳	83.4	84.4	77.0	89.7	81.8	82.3	69.9	90.1	82.9	83.8	77.7	88.4
40歳代	83.3	85.7	81.2	89.3	83.3	84.7	76.3	90.5	83.3	85.4	81.6	88.6
50歳代	73.0	78.7	75.2	81.8	78.2	80.8	75.6	85.2	74.4	79.3	76.4	81.9
60歳代	59.9	71.2	67.9	74.4	71.6	77.0	72.6	81.0	63.4	73.0	70.3	75.5
70歳代	42.0	68.2	63.4	73.0	53.3	67.7	62.2	72.8	45.8	68.1	64.5	71.7
80歳以上	15.6	57.6	44.5	72.2	28.5	64.2	51.1	78.0	20.5	60.6	51.2	70.6
UICC TNM分類総合ステージ												
I期	70.9	91.2	88.9	93.4	74.9	88.4	85.3	91.2	72.2	90.3	88.4	92.0
II期	56.4	74.2	64.8	82.7	75.4	86.3	76.9	93.7	64.0	79.2	72.6	85.3
III期	44.5	62.2	55.7	68.5	56.1	70.8	61.2	79.6	47.8	64.8	59.4	70.0
IV期	8.3	10.9	8.3	13.9	9.1	10.7	7.0	15.3	8.6	10.8	8.6	13.3
不詳	28.0	36.3	23.0	50.6	35.6	52.9	29.4	76.9	30.5	41.8	29.8	54.4
観血的治療												
有	64.2	81.9	79.7	83.9	71.6	83.5	80.7	86.1	66.4	82.4	80.7	84.0
原発巣・治癒切除	67.0	85.4	83.2	87.5	73.1	85.1	82.2	87.7	68.9	85.3	83.6	87.0
原発巣・非治癒切除	15.6	20.1	13.0	28.6	37.0	43.5	27.5	59.5	21.1	26.4	19.4	34.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	54.7	69.9	60.4	78.7	64.9	78.4	63.8	90.1	57.6	72.4	64.5	79.6
無	12.6	22.3	17.8	27.3	13.9	22.0	16.0	29.1	13.0	22.2	18.5	26.2

## 16. 腎盂尿管がん(腎盂尿管癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2009	260	2,342	1,622	97.7	72.7 歳
0期※	163	388	160	96.6	70.9 歳
I期	192	431	218	96.3	73.2 歳
II期	178	352	204	97.4	73.5 歳
III期	221	703	431	98.3	72.2 歳
IV期	223	744	680	98.3	71.9 歳

### (1) 生存状況把握割合

集計対象 2,342 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 1,622 例、打ち切りが 54 例で、全体として生存状況把握割合は 97.7%であった。

### (2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-16-1 に示す。性別で見ると、男性が約67%、女性が約33%であった。診断時の年齢分布を見ると、70歳代が最も多く約40%、80歳以上が約26%であった。UICC TNM 分類総合ステージの分布を見ると、IV期が約32%を占めた。観血的治療の実施割合は、約70%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約32%であった。

表 3-16-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	1,563	100.0	779	100.0	2,342	100.0
拠点病院等	1,536	98.3	754	96.8	2,290	97.8
都道府県推薦病院	27	1.7	25	3.2	52	2.2
年齢						
平均年齢 (SD)	71.8	9.7	74.4	9.6	72.7	9.7
0-14 歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39 歳	(7-9)		(1-3)		(7-9)	
40 歳代	23	1.5	(7-9)		31	1.3
50 歳代	134	8.6	49	6.3	183	7.8
60 歳代	404	25.8	162	20.8	566	24.2
70 歳代	624	39.9	311	39.9	935	39.9
80 歳以上	371	23.7	248	31.8	619	26.4
UICC TNM 分類総合ステージ						
0期※	288	-	99	-	387	-
I期	309	19.8	122	15.7	431	18.4
II期	242	15.5	110	14.1	352	15.0
III期	475	30.4	228	29.3	703	30.0
IV期	467	29.9	277	35.6	744	31.8
不詳	70	4.5	42	5.4	112	4.8
観血的治療						
有	1,129	72.2	509	65.3	1,638	69.9
原発巣・治癒切除	913	58.4	413	53.0	1,326	56.6
原発巣・非治癒切除	114	7.3	51	6.5	165	7.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	102	6.5	45	5.8	147	6.3
無	434	27.8	270	34.7	704	30.1
発見経緯						
がん検診	(7-9)		(7-9)		17	0.7
健康診断・人間ドック	50	3.2	21	2.7	71	3.0
他疾患経過観察中	526	33.7	222	28.5	748	31.9
その他・不明	978	62.6	528	67.8	1,506	64.3

## (3)10年生存率

10年生存率を表3-16-2に示す。相対生存率は、全体で44.6%であった。70歳以上では、実測生存率と相対生存率の乖離が大きく、他疾患での亡くなる場合も多いと考えられる。UICC TNM分類総合ステージ別に全体の相対生存率をみると、Ⅰ期が約76%、Ⅱ期が約63%、Ⅲ期が約56%、Ⅳ期が約10%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、約59%で、その内原発巣・治癒切除例では約65%であった。

表3-16-2 属性別10年生存率

	男性			女性			全体		
	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間
全体	29.2	45.9	42.4 49.5	31.1	41.9	37.5 46.3	29.8	44.6	41.8 47.4
拠点病院等	28.9	45.6	42.0 49.3	31.1	41.9	37.4 46.4	29.6	44.4	41.6 47.3
都道府県推薦病院	-	-		-	-		39.9	52.8	35.2 69.9
年齢									
0-39歳	-	-		-	-		-	-	
40歳代	-	-		-	-		54.8	56.3	36.9 72.1
50歳代	46.0	49.9	40.4 58.8	50.1	51.9	36.6 65.4	47.1	50.4	42.4 58.0
60歳代	40.2	47.8	42.1 53.5	40.9	44.1	35.9 52.2	40.4	46.8	42.0 51.4
70歳代	28.4	46.6	40.8 52.6	35.3	45.8	38.9 52.7	30.7	46.6	42.1 51.1
80歳以上	10.4	38.4	27.8 51.0	14.3	32.1	22.8 42.9	11.9	36.0	28.6 44.3
UICC TNM分類総合ステージ									
0期※	55.8	85.0	75.9 93.5	65.2	88.9	74.8 100.0	58.2	86.1	78.5 93.2
Ⅰ期	45.9	74.8	65.6 83.8	55.4	78.8	65.4 90.7	48.5	76.1	68.5 83.4
Ⅱ期	41.6	65.6	55.6 75.3	40.2	57.5	44.3 70.5	41.2	62.9	55.0 70.8
Ⅲ期	36.1	56.2	49.4 63.0	42.0	54.0	45.7 62.2	38.0	55.6	50.3 60.9
Ⅳ期	6.1	8.4	5.7 11.8	9.5	11.6	7.8 16.4	7.3	9.6	7.3 12.3
不詳	19.3	33.0	18.7 50.2	19.7	28.1	13.2 47.0	19.4	31.0	20.1 43.7
観血的治療									
有	38.1	59.1	54.7 63.5	44.5	59.4	53.5 65.1	40.1	59.3	55.8 62.8
原発巣・治癒切除	41.7	65.0	60.0 70.0	46.9	63.2	56.6 69.7	43.3	64.5	60.5 68.5
原発巣・非治癒切除	12.6	19.8	11.4 30.8	23.5	30.9	17.1 47.1	16.0	23.7	16.0 32.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	34.3	49.6	36.5 62.9	46.0	57.2	38.5 74.3	37.8	52.0	41.2 62.7
無	5.8	10.3	6.8 14.8	5.7	7.6	4.4 11.9	5.7	9.2	6.7 12.2

## 17. 甲状腺がん(甲状腺癌)

### 甲状腺乳頭濾胞がん(甲状腺乳頭濾胞癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2009	269	4,882	741	96.2	57.5 歳
I 期	253	1,944	126	94.8	49.7 歳
II 期	147	307	57	97.1	61.4 歳
III 期	242	1,396	173	97.1	61.1 歳
IV 期	233	1,156	353	97.6	64.5 歳

#### (1) 生存状況把握割合

集計対象 4,882 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 741 例、打ち切りが 186 例で、全体として生存状況把握割合は 96.2%であった。

#### (2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-17①-1 に示す。性別をみると、女性が 75.6%を占めた。年齢をみると、60 歳代が最も多く 26.0%、次いで 50 歳代が 21.1%であった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、I 期が最も多く 39.8%を占めた。観血的治療は 92.4%で実施されていた。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が 37.5%であった。

表 3-17①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	1,192	100.0	3,690	100.0	4,882	100.0
拠点病院等	1,177	98.7	3,606	97.7	4,783	98.0
都道府県推薦病院	15	1.3	84	2.3	99	2.0
年齢						
平均年齢 (SD)	59.2	14.3	56.9	15.5	57.5	15.3
0-14 歳	(1-3)		(7-9)		10	0.2
15-39 歳	130	10.9	567	15.4	697	14.3
40 歳代	154	12.9	551	14.9	705	14.4
50 歳代	253	21.2	778	21.1	1,031	21.1
60 歳代	335	28.1	936	25.4	1,271	26.0
70 歳代	269	22.6	649	17.6	918	18.8
80 歳以上	50	4.2	200	5.4	250	5.1
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	361	30.3	1,583	42.9	1,944	39.8
II 期	90	7.6	217	5.9	307	6.3
III 期	338	28.4	1,058	28.7	1,396	28.6
IV 期	376	31.5	780	21.1	1,156	23.7
不詳	27	2.3	52	1.4	79	1.6
観血的治療						
有	1,090	91.4	3,421	92.7	4,511	92.4
原発巣・治癒切除	940	78.9	3,037	82.3	3,977	81.5
原発巣・非治癒切除	75	6.3	169	4.6	244	5.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	75	6.3	215	5.8	290	5.9
無	102	8.6	269	7.3	371	7.6
発見経緯						
がん検診	32	2.7	182	4.9	214	4.4
健康診断・人間ドック	222	18.6	527	14.3	749	15.3
他疾患経過観察中	450	37.8	1,380	37.4	1,830	37.5
その他・不明	488	40.9	1,601	43.4	2,089	42.8

## (3)10 年生存率

10 年生存率を表 3-17①-2 に示す。相対生存率は、全体で 94.9%であった。年代別にみた相対生存率は、70 歳以上を除き約 90%以上であった。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、I 期が 100.0%、II 期が 94.5%、III 期が 99.2%、IV 期が約 82%でであった。観血的治療有の者の相対生存率は 97.2%であった。

表 3-17①-2 属性別 10 年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	75.7	91.5	88.4	94.3	87.5	96.0	94.7	97.1	84.6	94.9	93.7	96.0
拠点病院等	75.4	91.3	88.2	94.2	87.3	95.8	94.5	96.9	84.4	94.7	93.5	95.8
都道府県推薦病院	-	-			93.8	100.0	95.8	100.0	93.7	100.0	96.7	100.0
年齢												
0-39 歳	98.4	99.4	94.8	100.0	99.3	99.8	98.7	100.0	99.1	99.8	98.7	100.0
40 歳代	92.0	94.7	88.8	98.1	97.3	98.7	96.9	99.8	96.1	97.9	96.1	99.1
50 歳代	87.6	94.2	89.1	98.0	95.1	98.1	96.3	99.5	93.2	97.2	95.4	98.7
60 歳代	78.4	92.9	87.2	97.7	89.2	95.8	93.4	97.7	86.4	95.0	92.8	97.0
70 歳代	51.3	81.8	72.0	91.0	73.6	92.5	88.0	96.6	67.1	89.6	85.3	93.5
80 歳以上	20.8	74.9	38.8	100.0	33.2	74.0	59.2	89.0	30.6	74.2	60.2	88.5
UICC TNM 分類総合ステージ												
I 期	87.6	99.3	94.8	100.0	94.7	100.0	99.2	100.0	93.4	100.0	99.0	100.0
II 期	68.6	86.1	72.6	96.9	86.6	97.6	91.6	100.0	81.3	94.5	88.8	99.0
III 期	82.6	99.9	94.5	100.0	89.0	99.0	96.7	100.0	87.4	99.2	97.1	100.0
IV 期	61.7	78.7	72.1	84.7	72.7	83.2	79.4	86.7	69.1	81.8	78.5	84.8
不詳	-	-			61.5	73.4	55.4	87.8	56.5	71.1	55.8	84.3
観血的治療												
有	79.5	95.4	92.4	98.2	89.7	97.8	96.6	98.8	87.2	97.2	96.1	98.3
原発巣・治癒切除	81.9	97.8	94.6	100.0	91.3	99.2	98.0	100.0	89.1	98.8	97.7	99.9
原発巣・非治癒切除	59.7	76.7	61.2	89.7	66.9	78.1	69.1	85.8	64.7	77.7	70.0	84.5
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	70.1	83.9	69.7	94.8	84.6	93.0	86.7	97.6	80.9	90.7	84.9	95.3
無	33.2	46.1	33.5	59.1	58.6	71.6	63.9	78.5	51.7	64.8	58.1	71.1

## 甲状腺未分化がん(甲状腺未分化癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2009	76	116	110	99.1	73.3 歳
IV 期	76	115	109	99.1	73.4 歳

### (1) 生存状況把握割合

集計対象 116 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 110 例で、全体として生存状況把握割合は 99.1%であった。

### (2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-17②-1 に示す。性別をみると、男性が 46.6%、女性が 53.4%であった。年齢をみると、70 歳代が最も多く 38.8%、次いで 80 歳以上が 28.4%であった。観血的治療は甲状腺乳頭濾胞癌と比較して低く、44.8%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が約 13%であった。

表 3-17②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	54	100.0	62	100.0	116	100.0
拠点病院等	54	100.0	60	96.8	114	98.3
都道府県推薦病院	0	0.0	(1-3)		(1-3)	
年齢						
平均年齢 (SD)	70.9	9.5	75.4	10.0	73.3	10.0
0-14 歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39 歳	0	0.0	(1-3)		(1-3)	
40 歳代	(1-3)		0	0.0	(1-3)	
50 歳代	(7-9)		(1-3)		11	9.5
60 歳代	14	25.9	11	17.7	25	21.6
70 歳代	21	38.9	24	38.7	45	38.8
80 歳以上	10	18.5	23	37.1	33	28.4
UICC TNM 分類総合ステージ						
IV 期	53	98.1	62	100.0	115	99.1
不詳	(1-3)		0	0.0	(1-3)	
観血的治療						
有	21	38.9	31	50.0	52	44.8
原発巣・治癒切除	13	24.1	(7-9)		21	18.1
原発巣・非治癒切除	(4-6)		17	27.4	23	19.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	(1-3)		(4-6)		(7-9)	
無	33	61.1	31	50.0	64	55.2
発見経緯						
がん検診	(1-3)		0	0.0	(1-3)	
健康診断・人間ドック	(1-3)		0	0.0	(1-3)	
他疾患経過観察中	(7-9)		(7-9)		15	12.9
その他・不明	44	81.5	55	88.7	99	85.3

(3)10年生存率

10年生存率を表3-17②-2に示す。実測生存率、相対生存率ともに10%未満であった。対象数が限られるため生存率値の解釈には留意が必要である。

表3-17②-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	5.3	7.0	1.7	18.2	4.8	7.1	1.9	18.0	5.1	7.2	2.9	14.4
拠点病院等 都道府県推薦病院	5.3	7.0	1.7	18.2	5.0	7.4	1.9	18.5	5.2	7.3	2.9	14.7
UICC TNM分類総合ステージ												
IV期	5.4	7.1	1.7	18.5	4.8	7.1	1.9	18.0	5.1	7.2	2.9	14.6
不詳	-	-			-	-			-	-		
観血的治療												
有	-	-			9.7	14.2	3.6	33.7	11.3	15.9	6.3	30.4
原発巣・治癒切除	-	-			-	-			-	-		
原発巣・非治癒切除	-	-			-	-			-	-		
原発巣・治癒/非治癒 の別不詳	-	-			-	-			-	-		
無	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## 甲状腺髄様がん(甲状腺髄様癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2009	22	26	(7-9)	100.0	56.3
I 期	7	8	(1-3)	0.0	57.9
II 期	2	2	0	0.0	48.0
III 期	5	5	(1-3)	0.0	56.4
IV 期	11	11	(4-6)	0.0	56.5

### (1) 生存状況把握割合

集計対象 26 例であった。

集計対象全体で生存状況把握割合は、100.0%であった。

### (2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-17③-1 に示す。

対象数が限られるため全体でのみ示す。男性が 54%、女性が 46%であった。診断時の平均年齢は 56.3 歳であった。観血的治療を受けた者が 24 名であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が 11 名であった。

表 3-17③-1 対象者の属性

	全体	
	対象数	(%)
全体	26	100.0
拠点病院等	26	100.0
都道府県推薦病院	0	0.0
年齢		
平均年齢 (SD)	56.3	16.3
0-14 歳	0	0.0
15-39 歳	(4-6)	
40 歳代	(4-6)	
50 歳代	(4-6)	
60 歳代	(7-9)	
70 歳代	(4-6)	
80 歳以上	0	0.0
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	(7-9)	
II 期	(1-3)	
III 期	(4-6)	
IV 期	11	42.3
不詳	0	0.0
観血的治療		
有	24	92.3
原発巣・治癒切除	21	80.8
原発巣・非治癒切除	(1-3)	
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	0	0.0
無	(1-3)	
発見経緯		
がん検診	(1-3)	
健康診断・人間ドック	(4-6)	
他疾患経過観察中	11	42.3
その他・不明	(7-9)	

※全登録数が 30 例に満たないため、生存率は集計しない。



## 18. 女性卵巣がん(女性卵巣癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2009	261	3,976	1,961	96.9	57.4 歳
I 期	243	1,590	273	95.3	52.9 歳
II 期	167	372	165	98.1	60.1 歳
III 期	223	1,229	881	97.7	58.9 歳
IV 期	195	628	543	99.2	62.3 歳

### (1) 生存状況把握割合

集計対象 3,976 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 1,961 例、打ち切りが 122 例で、全体として生存状況把握割合は 96.9%であった。

### (2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-18-1 に示す。診断時の年齢分布をみると、50 歳代が最も多く約 28%、次いで 60 歳代が約 25%であった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、I 期が最も多く 40.0%を占めた。観血的治療は 83.4%で実施されていた。

表 3-18-1 対象者の属性

	全体	
	対象数	(%)
全体	3,976	100.0
拠点病院等	3,897	98.0
都道府県推薦病院	79	2.0
年齢		
平均年齢 (SD)	57.4	14.4
0-14 歳	30	0.8
15-39 歳	372	9.4
40 歳代	676	17.0
50 歳代	1,104	27.8
60 歳代	1,008	25.4
70 歳代	558	14.0
80 歳以上	228	5.7
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	1,590	40.0
II 期	372	9.4
III 期	1,229	30.9
IV 期	628	15.8
不詳	157	3.9
観血的治療		
有	3,316	83.4
原発巣・治癒切除	2,283	57.4
原発巣・非治癒切除	678	17.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	355	8.9
無	660	16.6
発見経緯		
がん検診	183	4.6
健康診断・人間ドック	135	3.4
他疾患経過観察中	664	16.7
その他・不明	2,994	75.3

(3)10年生存率

10年生存率を表3-18-2に示す。相対生存率は、全体で53.9%であった。実測生存率と相対生存率の差は他のがんと比較して大きくはなかった。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、全体でⅠ期が約88%、Ⅱ期が約61%、Ⅲ期が約30%、Ⅳ期が約14%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は約62%で、その内原発巣・治癒切除例では約72%であった。

表3-18-2 属性別10年生存率

	実測	全体		
		相対	95%信頼区間	
全体	50.2	53.9	52.2	55.5
拠点病院等	50.1	53.8	52.1	55.5
都道府県推薦病院	52.8	57.1	44.6	68.3
年齢				
0-39歳	79.4	79.8	75.5	83.5
40歳代	60.3	61.2	57.4	64.9
50歳代	53.7	55.5	52.4	58.5
60歳代	47.8	51.2	47.8	54.4
70歳代	29.8	37.5	32.7	42.4
80歳以上	11.8	26.7	18.0	37.3
UICC TNM 総合ステージ				
Ⅰ期	82.6	87.7	85.6	89.6
Ⅱ期	55.4	61.3	55.5	66.7
Ⅲ期	27.5	29.6	26.9	32.3
Ⅳ期	13.0	14.1	11.4	17.1
不詳	35.6	39.3	31.0	47.6
観血的治療				
有	57.9	61.9	60.1	63.7
原発巣・治癒切除	67.8	72.2	70.1	74.2
原発巣・非治癒切除	27.6	29.9	26.3	33.6
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	52.6	56.9	51.1	62.4
無	10.8	12.2	9.6	15.1

付表 1.集計対象施設一覧

## 付表1 集計対象施設について

都道府県	施設名称
北海道	独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター
北海道	JA北海道厚生連 旭川厚生病院
北海道	王子総合病院
北海道	JA北海道厚生連帯広厚生病院
北海道	北見赤十字病院
北海道	社会医療法人母恋 日鋼記念病院
北海道	社会福祉法人 函館厚生院 函館五稜郭病院
青森	八戸市立市民病院
岩手	岩手県立中央病院
岩手	岩手県立二戸病院
岩手	岩手医科大学附属病院
岩手	岩手県立中部病院
岩手	岩手県立磐井病院
岩手	岩手県立宮古病院
岩手	岩手県立久慈病院
岩手	岩手県立釜石病院
宮城	東北大学病院
宮城	宮城県立がんセンター
宮城	石巻赤十字病院
宮城	大崎市民病院
宮城	独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院
秋田	秋田大学医学部附属病院
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 由利組合総合病院
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 大曲厚生医療センター
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 能代厚生医療センター
秋田	秋田赤十字病院
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会秋田厚生医療センター
山形	山形県立中央病院
山形	山形大学医学部附属病院
山形	山形市立病院済生館
山形	日本海総合病院
福島	福島県立医科大学附属病院
福島	太田西ノ内病院
福島	一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院
福島	総合南東北病院
茨城	茨城県立中央病院
茨城	筑波メディカルセンター病院・茨城県地域がんセンター
茨城	茨城県厚生農業協同組合連合会 総合病院土浦協同病院・茨城県地域がんセンター
茨城	東京医科大学茨城医療センター
茨城	友愛記念病院
茨城	国立大学法人 筑波大学附属病院
茨城	株式会社 日立製作所 ひたちなか総合病院
栃木	地方独立行政法人栃木県立がんセンター
栃木	栃木県済生会宇都宮病院
栃木	獨協医科大学病院
栃木	那須赤十字病院
群馬	群馬県立がんセンター
群馬	群馬大学医学部附属病院
群馬	独立行政法人国立病院機構 渋川医療センター
群馬	独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター
群馬	桐生厚生総合病院
群馬	前橋赤十字病院
埼玉	埼玉県立がんセンター
埼玉	春日部市立医療センター

都道府県	施設名称
埼玉	獨協医科大学埼玉医療センター
埼玉	川口市立医療センター
埼玉	埼玉医科大学国際医療センター
埼玉	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会川口総合病院
千葉	国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院
千葉	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院
千葉	国保直営総合病院 君津中央病院
千葉	千葉県がんセンター
千葉	独立行政法人労働者健康安全機構千葉労災病院
千葉	船橋市立医療センター
千葉	千葉大学医学部附属病院
千葉	東京歯科大学市川総合病院
千葉	順天堂大学医学部附属浦安病院
千葉	東京慈恵会医科大学附属柏病院
千葉	松戸市立総合医療センター
千葉	日本医科大学千葉北総病院
東京	国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院
東京	東京都立駒込病院
東京	NTT東日本関東病院
東京	日本赤十字社医療センター
東京	日本大学医学部附属板橋病院
東京	がん研有明病院
東京	日本医科大学付属病院
東京	聖路加国際病院
東京	帝京大学医学部附属病院
東京	杏林大学医学部付属病院
東京	順天堂大学医学部附属順天堂医院
東京	昭和大学病院
神奈川	神奈川県立がんセンター
神奈川	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院
神奈川	横浜市立市民病院
神奈川	小田原市立病院
神奈川	川崎市立井田病院
神奈川	聖マリアンナ医科大学病院
神奈川	北里大学病院
新潟	新潟県立がんセンター新潟病院
新潟	新潟県立中央病院
新潟	長岡赤十字病院
新潟	新潟県厚生農業協同組合連合会長岡中央総合病院
新潟	県立新発田病院
富山	富山県立中央病院
富山	黒部市民病院
富山	国立大学法人 富山大学附属病院
富山	厚生連高岡病院
石川	国立大学法人金沢大学附属病院
石川	石川県立中央病院
石川	金沢医科大学病院
石川	国民健康保険小松市民病院
福井	福井県立病院
福井	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 福井県済生会病院
福井	福井赤十字病院
福井	福井大学医学部附属病院
山梨	山梨県立中央病院
山梨	国立大学法人山梨大学医学部附属病院

都道府県	施設名称
山梨	市立甲府病院
長野	JA長野厚生連 佐久総合病院 佐久医療センター
長野	国立大学法人 信州大学医学部附属病院
長野	諏訪赤十字病院
長野	飯田市立病院
長野	長野市民病院
長野	長野赤十字病院
長野	社会医療法人財団慈泉会 相澤病院
長野	伊那中央病院
岐阜	高山赤十字病院
岐阜	岐阜県総合医療センター
岐阜	岐阜県立多治見病院
岐阜	大垣市民病院
岐阜	社会医療法人厚生会 木沢記念病院
静岡	静岡県立静岡がんセンター
静岡	静岡県立総合病院
静岡	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院
静岡	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院
静岡	順天堂大学医学部附属静岡病院
静岡	静岡市立静岡病院
静岡	藤枝市立総合病院
静岡	浜松医科大学医学部附属病院
静岡	浜松医療センター
静岡	磐田市立総合病院
愛知	愛知県がんセンター
愛知	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院
愛知	海南病院
愛知	国立病院機構 名古屋医療センター
愛知	小牧市民病院
愛知	豊橋市民病院
愛知	一宮市立市民病院
愛知	公立陶生病院
愛知	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院
愛知	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院
愛知	藤田医科大学病院
三重	伊勢赤十字病院
三重	三重大学医学部附属病院
滋賀	市立長浜病院
滋賀	滋賀医科大学医学部附属病院
京都	京都市立病院
京都	京都第一赤十字病院
京都	京都第二赤十字病院
京都	独立行政法人国立病院機構 京都医療センター
京都	市立福知山市民病院
大阪	大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター
大阪	市立岸和田市民病院
大阪	地方独立行政法人市立東大阪医療センター
大阪	市立豊中病院
大阪	大阪国際がんセンター
大阪	地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター
大阪	大阪赤十字病院
大阪	独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター
大阪	独立行政法人労働者健康安全機構大阪労災病院
大阪	大阪医科薬科大学病院

都道府県	施設名称
大阪	大阪市立大学医学部附属病院
大阪	国立病院機構大阪医療センター
大阪	八尾市立病院
兵庫	兵庫県立がんセンター
兵庫	神戸大学医学部附属病院
兵庫	神戸市立医療センター中央市民病院
兵庫	独立行政法人労働者健康安全機構 関西労災病院
兵庫	公立学校共済組合 近畿中央病院
兵庫	姫路赤十字病院
兵庫	赤穂市民病院
兵庫	公立豊岡病院組合立豊岡病院
兵庫	兵庫県立淡路医療センター
兵庫	兵庫医科大学病院
兵庫	兵庫県立丹波医療センター
奈良	奈良県立医科大学附属病院
奈良	奈良県総合医療センター
奈良	天理よろづ相談所病院
奈良	近畿大学奈良病院
奈良	市立奈良病院
和歌山	日本赤十字社和歌山医療センター
和歌山	和歌山県立医科大学附属病院
鳥取	鳥取県立中央病院
鳥取	鳥取大学医学部附属病院
島根	松江市立病院
島根	松江赤十字病院
島根	島根大学医学部附属病院
島根	島根県立中央病院
島根	独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター
岡山	岡山赤十字病院
岡山	公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
岡山	津山中央病院
岡山	川崎医科大学附属病院
広島	県立広島病院
広島	広島赤十字・原爆病院
広島	独立行政法人国立病院機構 呉医療センター
広島	東広島医療センター
広島	福山市民病院
山口	山口県立総合医療センター
山口	国立病院機構 岩国医療センター
山口	山口県厚生農業協同組合連合会周東総合病院
山口	独立行政法人地域医療機能推進機構徳山中央病院
徳島	徳島県立中央病院
徳島	国立大学法人 徳島大学病院
徳島	徳島赤十字病院
香川	香川県立中央病院
香川	独立行政法人労働者健康安全機構香川労災病院
香川	三豊総合病院
香川	高松赤十字病院
香川	香川大学医学部附属病院
愛媛	市立宇和島病院
愛媛	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター
愛媛	住友別子病院
愛媛	愛媛大学医学部附属病院
愛媛	愛媛県立中央病院



都道府県	施設名称
愛媛	松山赤十字病院
愛媛	社会福祉法人恩賜財団済生会今治病院
高知	国立大学法人 高知大学医学部附属病院
高知	高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター
福岡	久留米大学病院
福岡	公立八女総合病院
福岡	地方独立行政法人大牟田市立病院
福岡	社会保険田川病院
福岡	飯塚病院
福岡	独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター
福岡	北九州市立医療センター
福岡	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター
福岡	九州大学病院
福岡	福岡県済生会福岡総合病院
福岡	福岡大学病院
福岡	聖マリア病院
福岡	独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院
福岡	産業医科大学病院
福岡	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院
佐賀	地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館
佐賀	国立大学法人 佐賀大学医学部附属病院
佐賀	唐津赤十字病院
佐賀	独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター
長崎	日本赤十字社 長崎原爆病院
長崎	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター
長崎	国立大学法人 長崎大学病院
長崎	長崎県島原病院
熊本	熊本大学病院
熊本	独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院
熊本	人吉医療センター
熊本	熊本赤十字病院
熊本	国立病院機構 熊本医療センター
熊本	荒尾市民病院
大分	大分県立病院
大分	大分赤十字病院
大分	大分大学医学部附属病院
大分	大分県済生会日田病院
宮崎	宮崎県立宮崎病院
宮崎	国立病院機構 都城医療センター
宮崎	国立大学法人宮崎大学医学部附属病院
鹿児島	鹿児島大学病院
鹿児島	国立病院機構 鹿児島医療センター
鹿児島	独立行政法人国立病院機構 南九州病院
鹿児島	県民健康プラザ鹿屋医療センター
鹿児島	公益社団法人昭和会いまきいれ総合病院
鹿児島	出水郡医師会広域医療センター
鹿児島	社会医療法人 博愛会 相良病院
沖縄	地方独立行政法人那覇市立病院
沖縄	沖縄県立中部病院
沖縄	国立大学法人 琉球大学病院

都道府県	施設名称
秋田	中通総合病院
山形	鶴岡市立荘内病院
福島	労働者健康安全機構福島労災病院
福島	会津中央病院
群馬	群馬中央病院
群馬	群馬県済生会前橋病院
石川	芳珠記念病院
静岡	沼津市立病院
静岡	焼津市立総合病院
大阪	パナソニック健康保険組合 松下記念病院
鳥取	独立行政法人国立病院機構 米子医療センター
鳥取	鳥取市立病院
島根	松江医療センター
熊本	天草地域医療センター
沖縄	社会医療法人仁愛会 浦添総合病院

## 関係者一覧

### 【監修】

東 尚弘 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター

奥山 絢子 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録分析室

### 【解析・執筆・編集】

奥山 絢子 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録分析室

渡部 万里 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録分析室

外山 祐也 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録分析室

### 【データ収集】

塚田 庸一郎 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録室

近藤 誓哉 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録室

### 院内がん登録生存率集計の事務局

国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター院内がん登録分析室

担当：奥山、渡部

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

電話：03-3547-5201(内線 1600)

メールアドレス：[hbcr\\_analysis@ml.res.ncc.go.jp](mailto:hbcr_analysis@ml.res.ncc.go.jp)

## 院内がん登録 2009年10年生存率集計 報告書

2021年12月第1刷発行(非売品)

編集 東尚弘 奥山絢子

発行 国立研究開発法人 国立がん研究センター  
がん対策研究所 がん登録センター  
問い合わせ先: 院内がん登録分析室  
〒104-0045 東京都中央区築地五丁目1番1号  
電話 03-3542-2511